

東大阪市移動実態調査 報告書

平成 3 1 年 1 月

目次

1 調査の概要	1
1.1 アンケートの概要	1
2 転入者アンケート調査の結果	2
2.1 転入前後の住まいについて	2
2.2 転入前後の世帯構成について	6
2.3 転入後の同居家族について	8
2.4 転入理由について	11
2.5 通勤の状況について	14
2.6 居住地の選択について	16
2.7 転入前後の住宅の所有関係などについて	22
2.8 東大阪市での居住に対する評価について	25
2.9 東大阪市への定住意向について	29
2.10 自由意見	36
3 転出者アンケート調査の結果	38
3.1 転出前後のお住まいについて	38
3.2 転出前後の世帯構成について	42
3.3 転出後の同居家族について	44
3.4 転出理由について	46
3.5 通勤の状況について	49
3.6 居住地の選択について	51
3.7 転出前後の住宅の所有関係などについて	55
3.8 東大阪市での居住に対する評価について	58
3.9 東大阪市への帰還意向について	63
3.10 自由意見	69
4 アンケート調査票	71
4.1 転入実態調査票	71
4.2 転出実態調査票	79

1 調査の概要

1.1 アンケートの概要

1) アンケートの配布対象者

- 平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月までの間に、東大阪市に転入された方、東大阪市から転出された方の中から、それぞれ 1,000 人ずつ合計 2,000 人の方を無作為抽出

2) アンケートの実施スケジュール

- アンケートの発送 : 8 月 31 日 (金)
- アンケートの回収期限 : 9 月 10 日 (月)
 - ※ 回収方法は、料金受取人払郵便により回収
 - ※ 回収期限時点での回収数が少なかったため、督促状を発送し、10 月 22 日 (月) までに到着したものまでを集計している。

3) アンケートの配布数と回収数・回収率

転入、転出それぞれのアンケートの配布数と回収数・回収率は以下の通り。

表 アンケートの配布・回収状況

	配布数	回収数	回収率
転入実態調査	1047 通 (うち 15 通は不着)	222 通	21.2%
転出実態調査	1042 通 (うち 47 通は不着)	216 通	20.7%

2 転入者アンケート調査の結果

2.1 転入前後の住まいについて

問 1 転入前後のお住まいについておたずねします。

問 1-1 以前にお住まいの都道府県、市区町村、町丁目を教えてください。

1) 転入前の住まい

転入前の住まいは、「大阪市」が最も多く 32.4%、次いで「大阪府（大阪市・堺市を除く）」が 22.1%となっており、堺市（4.5%）を含めると 59.0%と約 6 割を大阪府が占めている。

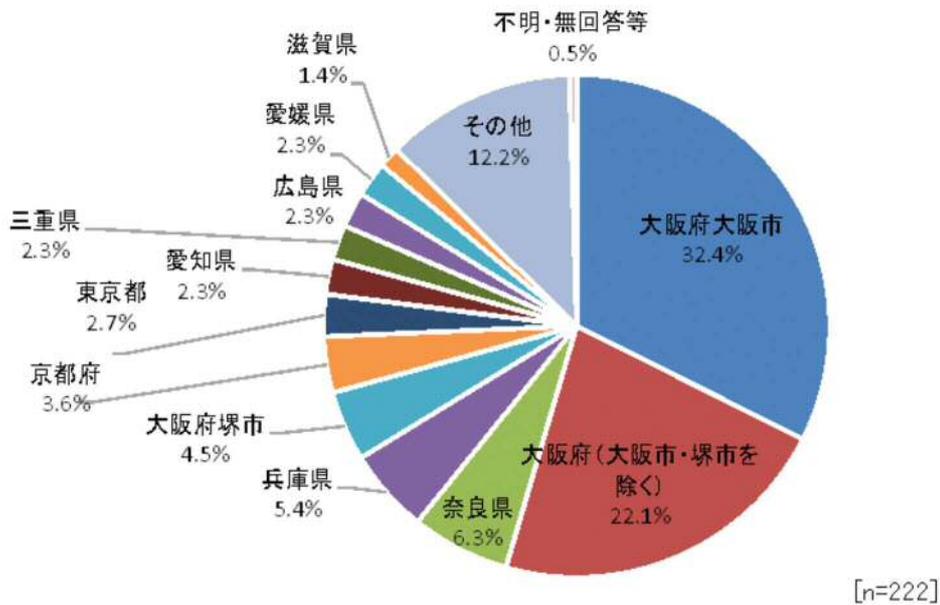


図 転入前の住まい

【大阪府内市区町村別】

前住所		回答数
1	大阪市生野区	9
2	大阪市城東区	8
3	八尾市	7
4	大阪市中央区	6
5	大阪市東成区	6
6	大阪市鶴見区	6
7	大東市	6
8	東大阪市	4
9	大阪市西淀川区	4
10	門真市	4
11	吹田市	4
12	大阪市淀川区	3
13	大阪市天王寺区	3
14	大阪市北区	3
15	大阪市港区	3
16	大阪市東淀川区	3
17	大阪市東住吉区	3
18	堺市東区	3
19	守口市	3
20	寝屋川市	3
21	茨木市	3
22	大阪市阿倍野区	2
23	大阪市西区	2
24	大阪市都島区	2
25	大阪市西成区	2
26	堺市中区	2
27	堺市（区名未記入）	2
28	交野市	2
29	四条畷市	2
30	河内長野市	2
31	柏原市	2
32	大阪市大正区	1
33	大阪市福島区	1
34	大阪市平野区	1
35	大阪市浪速区	1
36	大阪市此花区	1
37	大阪市住吉区	1
38	大阪市（区名未記入）	1
39	堺市堺区	1
40	堺市西区	1
41	堺市美原区	1
42	枚方市	1
43	箕面市	1
44	羽曳野市	1
45	松原市	1
46	藤井寺市	1
47	和泉市	1
48	泉南市	1
回答者数 222（人）のうち		131

問 1-2 今お住まいの町丁目を教えてください。

2) 転入後の住まい

転入後の住まいを小学校区別にみると、楠根東や成和、西堤、森河内、北宮と近鉄奈良線以北において10を超える小学校区が分布している。

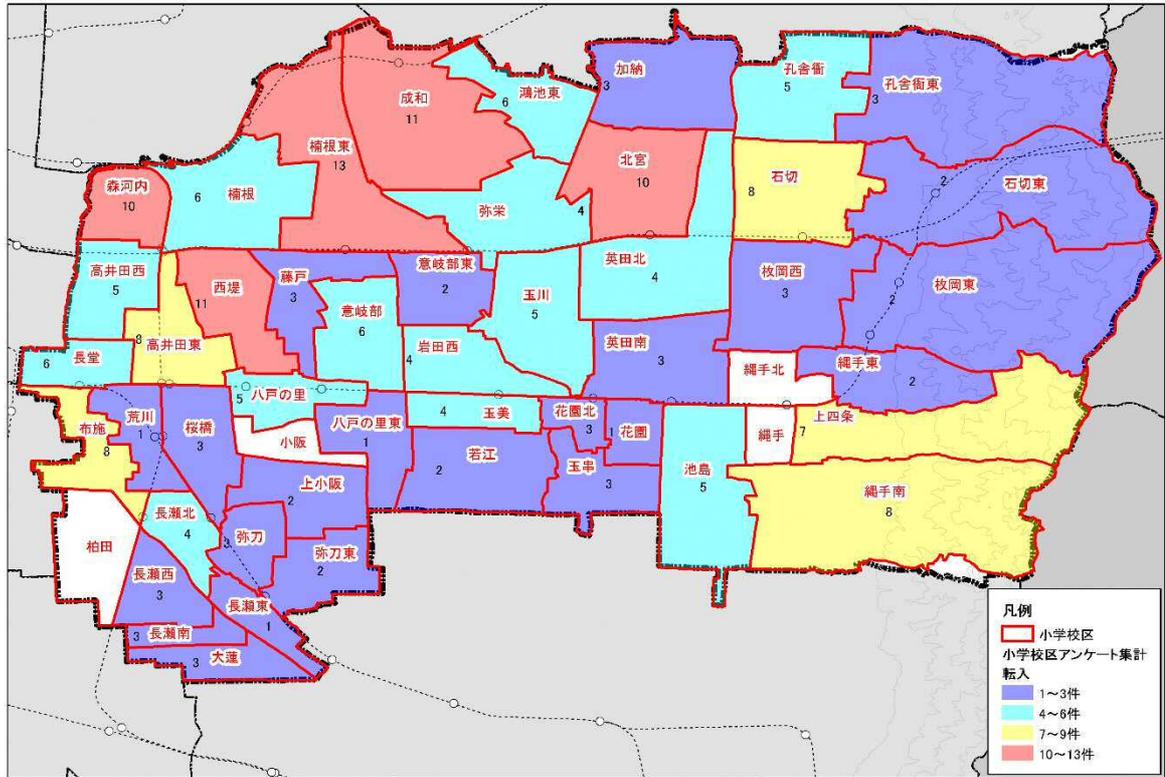


図 転入後の住まい(小学校区別)

表 転入後の住まい(小学校区別)

	現住所	回答数	比率
1	楠根東	13	5.9%
2	成和	11	5.0%
3	西堤	11	5.0%
4	森河内	10	4.5%
5	北宮	10	4.5%
6	高井田東	8	3.6%
7	石切	8	3.6%
8	縄手南	8	3.6%
9	布施	8	3.6%
10	上四条	7	3.2%
11	意岐部	6	2.7%
12	鴻池東	6	2.7%
13	長堂	6	2.7%
14	楠根	6	2.7%

	現住所	回答数	比率
15	玉川	5	2.3%
16	孔舎衛	5	2.3%
17	高井田西	5	2.3%
18	池島	5	2.3%
19	八戸の里	5	2.3%
20	英田北	4	1.8%
21	岩田西	4	1.8%
22	玉美	4	1.8%
23	長瀬北	4	1.8%
24	弥栄	4	1.8%
25	英田南	3	1.4%
26	加納	3	1.4%
27	花園北	3	1.4%
28	玉串	3	1.4%
29	孔舎衛東	3	1.4%
30	桜橋	3	1.4%
31	大蓮	3	1.4%
32	長瀬西	3	1.4%
33	長瀬南	3	1.4%
34	藤戸	3	1.4%
35	枚岡西	3	1.4%
36	弥刀	3	1.4%
37	意岐部東	2	0.9%
38	若江	2	0.9%
39	上小阪	2	0.9%
40	石切東	2	0.9%
41	縄手東	2	0.9%
42	枚岡東	2	0.9%
43	弥刀東	2	0.9%
44	花園	1	0.5%
45	荒川	1	0.5%
46	長瀬東	1	0.5%
47	八戸の里東	1	0.5%
48	学区不明	3	1.4%
	不明・無回答等	2	0.9%
	回答者数 (人)	222	

2.2 転入前後の世帯構成について

問 2 転入前後の世帯の構成について、あてはまる番号に1つ○をつけてください。

問 2-1 転入前の世帯構成を教えてください。

1) 転入前の世帯構成

転入前の世帯構成は、「二世帯同居（親と子ども）」が36.9%と最も多く、次いで「ひとり世帯」（32.9%）、「夫婦のみ」（17.1%）となっている。

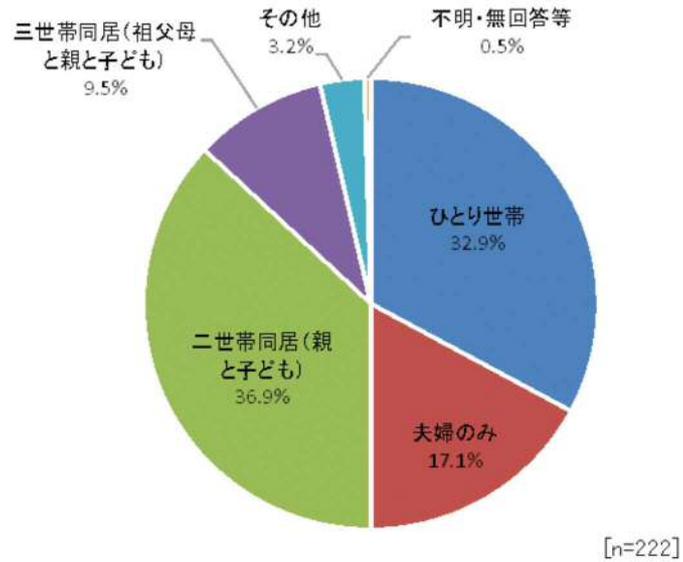


図 転入前の世帯構成

【その他の回答】

姉妹(4件)

友人宅

問 2 -2 転入後の世帯構成を教えてください。

2) 転入後の世帯構成

転入後の世帯構成は、「夫婦のみ」が 33.3%で「二世帯同居（親と子ども）」の 28.4%を上回っており、夫婦のみ世帯が 16.2%増加している。「ひとり世帯」は 30.2%で、転入前とほぼ変わらない値となっている。

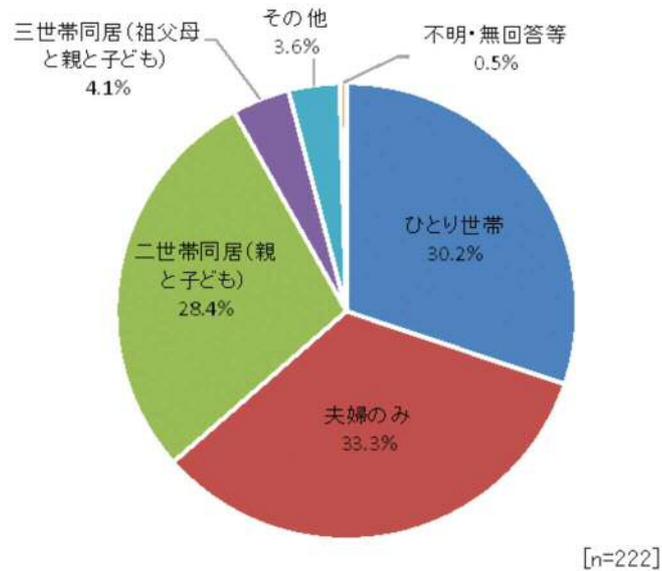


図 転入後の世帯構成

【その他の回答】

義姉夫婦
弟
本人、娘、祖母
姉妹
四世代同居
婚約者と同居

2.3 転入後の同居家族について

問3 世帯構成についてご記入ください。

また、転入の最も大きな要因となった方はどなたですか。あてはまる方の番号に1つ○をつけてください。

1) 中学生以下の子どもがいる世帯の割合とその就業状況

「中学生以下の子どもがいない世帯」が82.0%と高い値となっている。中学生以下の子どもがいる世帯については、「就学前（0～6歳以下）の子どもが一人以上いる世帯」の割合が14.4%と最も多くなっている。

また、「中学生以下（0～15歳以下）の子どもが一人以上いる世帯」の両親の就業状況を見ると、「両親の一方のみが就業している世帯」が60.0%、「両親ともに就業している世帯」が27.5%となっている。

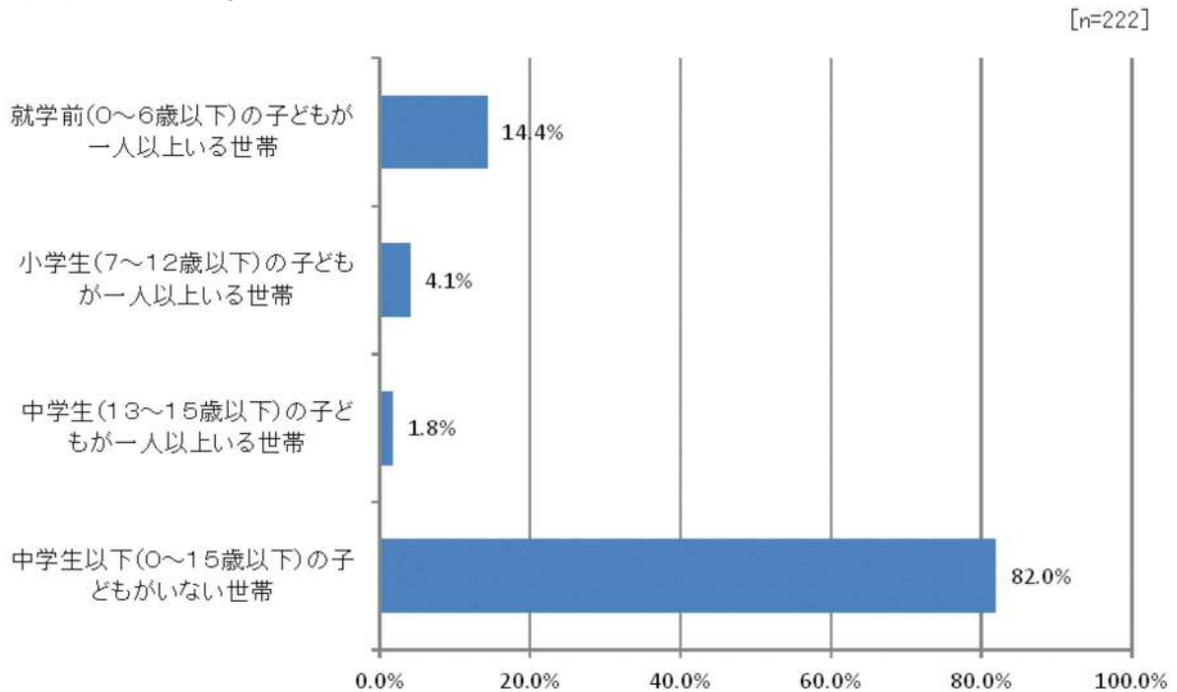


図 同居家族の子どもの年齢分類

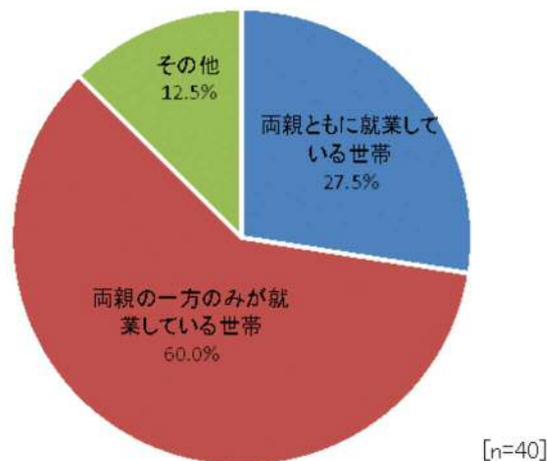


図 中学生以下(0～15歳以下)の子どもが一人以上いる世帯の両親の就業状況

2) 転入の最も大きな要因となった同居家族について

年齢では、20～39歳の若い世代の割合が比較的多い。

性別では「男性」が34.7%、「女性」が23.4%と男性の割合が高くなっている。

職業の有無では「有」が43.7%、「無」が14.4%と職業を持つ方の割合が高い。

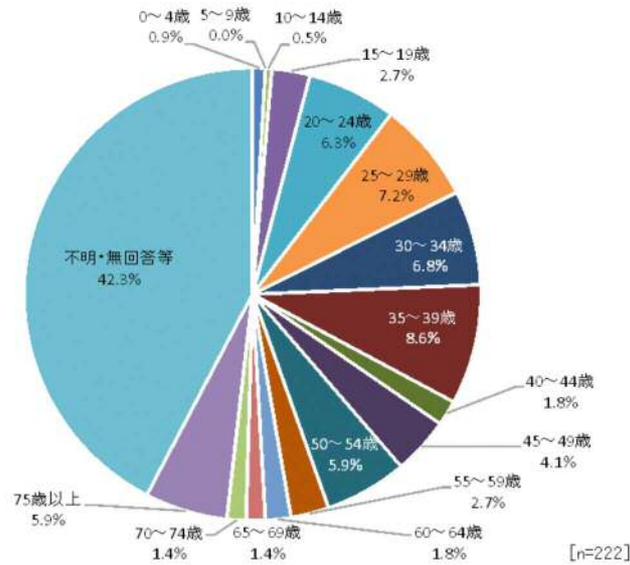


図 転入の要因となった家族の年齢

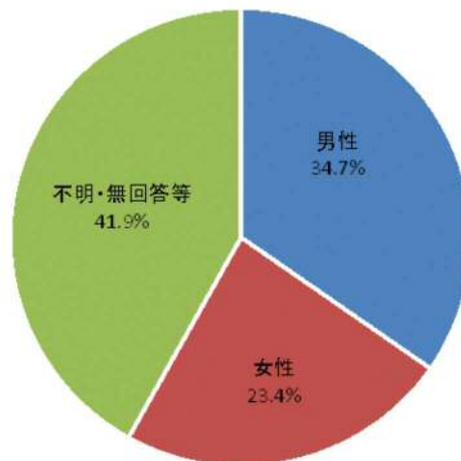
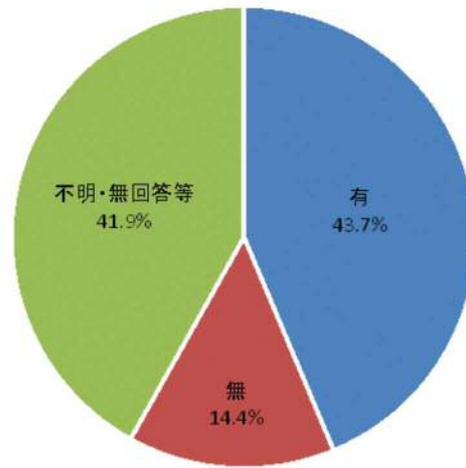


図 転入の要因となった家族の性別



[n=222]

図 転入の要因となった家族の職業の有無

2.4 転入理由について

問 4 転入理由についておたずねします。

問 4-1 問 3 で○をされた転入の最も大きな要因となった方についておたずねします。転入の一番大きなきっかけとなったできごとは何でしたか。あてはまる番号に 1 つ○をつけてください。

1) 転入の理由

転入の理由としては、「職業上の理由」が 38.7%で最も多く、次いで「結婚・離婚などの理由」が 21.2%、「家族などの理由」が 12.2%となっている。

具体的にみると、「結婚」が 18.0%で最も多く、次いで「転勤」「通勤の利便性を重視」がともに 10.4%となっている。

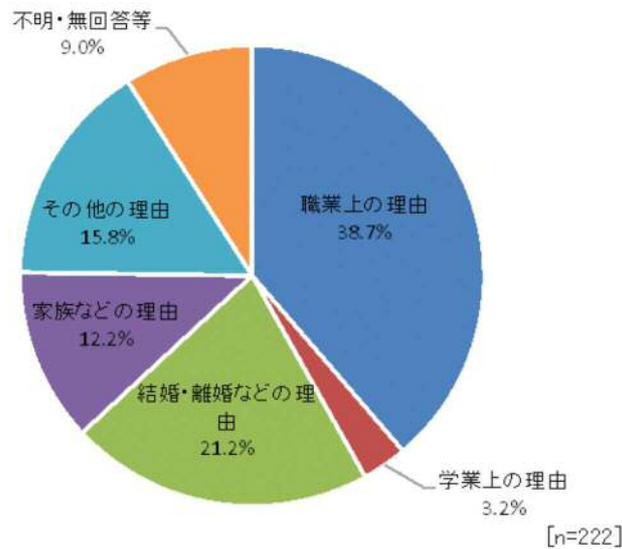


図 転入の理由(大分類)

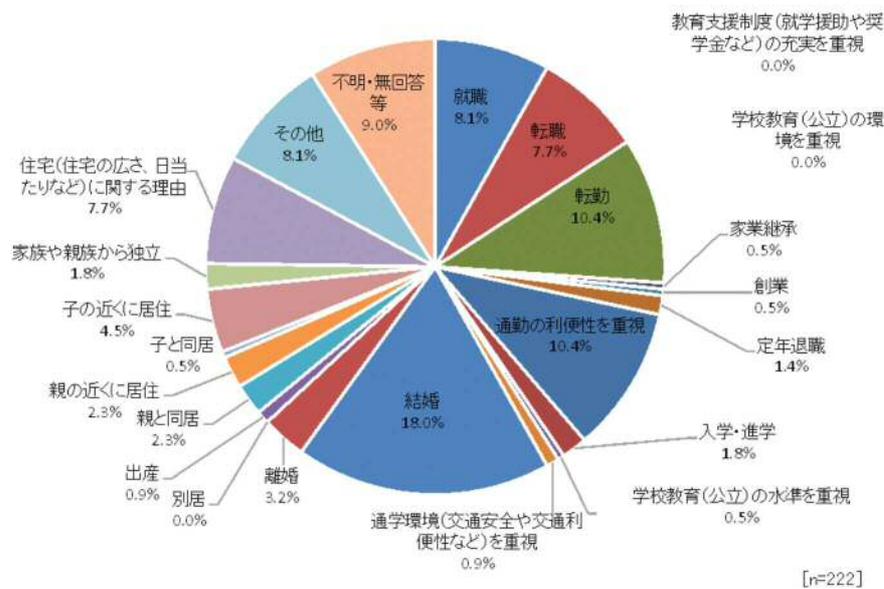


図 転入の理由(小分類)

【その他の回答】

建物から退去明渡し
長男の就職に伴い主人のいる大阪へ
出身が大阪で同級生たちがいるから
弟の近く
熊本での車の購入
府営住宅が当選
1人での生活が大変で高齢者施設に転居した
子供と折り合わなかった
前の家が立ち退きのため
妹の入院先(難病)に近いため
私の実家が空き家のままだったので
施設に入るため
怪我
ストーカー
交通、駐車場
両親が亡くなり空き家になったため

問 4-2 問 4-1 で「22.住宅（住宅の広さ、日当たりなど）に関する理由」に○をつけた方におたずねします。転入前に住んでいた住宅に関して、転出を考えた理由は何でしたか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

2) 転入の要因となった前住宅に関する理由

前住宅に関する理由としては、「住宅を購入したかった」が35.3%で最も高く、次いで「間取りが悪かった」と「手狭になった」が23.5%、「古くなった」「家賃が高かった」「駐車スペースがなかった」がともに17.6%となっている。

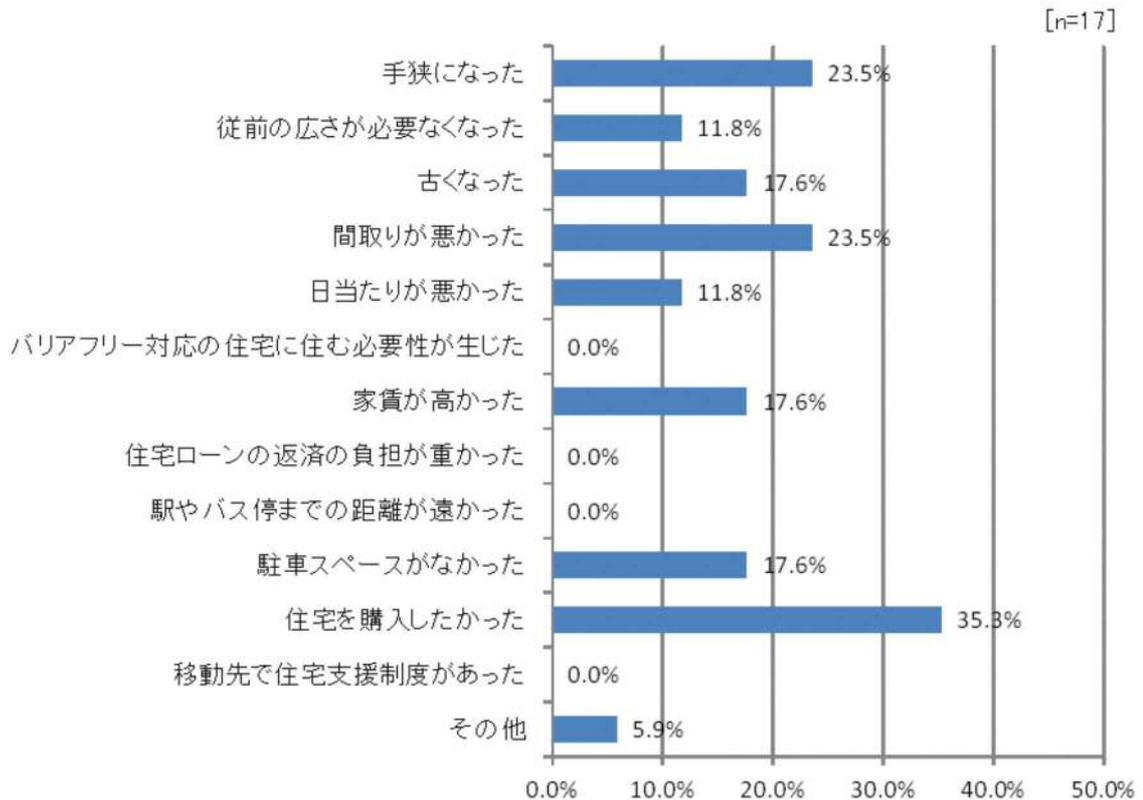


図 転入の要因となった前住宅に関する理由

【その他の回答】

—

2.5 通勤の状況について

問 5 世帯で主となり生計を立てている方の通勤の状況についておたずねします。

問 5-1 現在の勤務地と自宅からの所要時間について記入してください。

1) 現在の勤務地及び所要時間

現在の勤務地は、「大阪市」（区名未記入も含む）が 40.4%と約 4 割を占めており、次いで「東大阪市」が 24.8%となっている。

勤務地までの所要時間は、「30分～1時間未満」が 37.4%で最も多く、次いで「10分～30分未満」が 22.1%となっている。

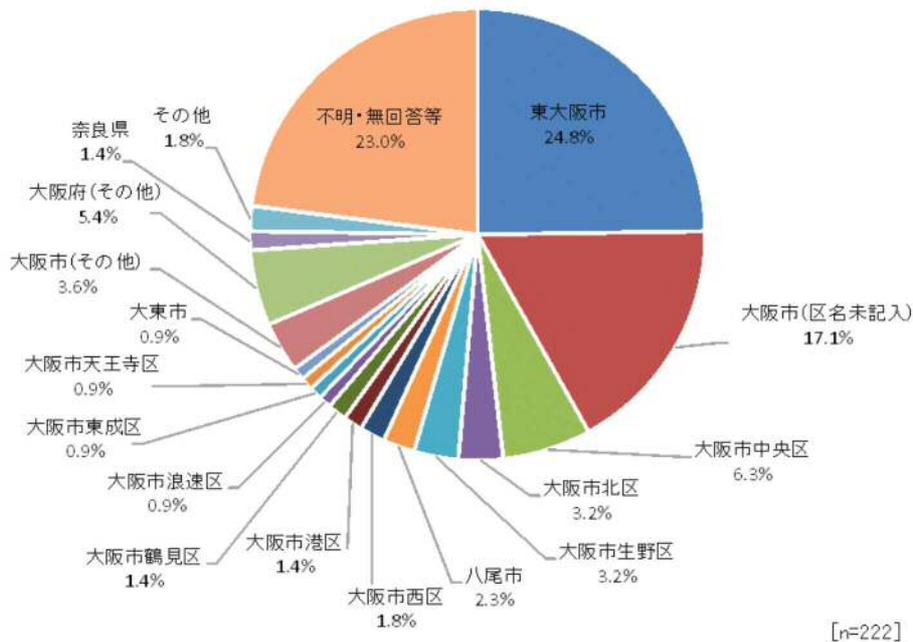


図 現在の勤務地

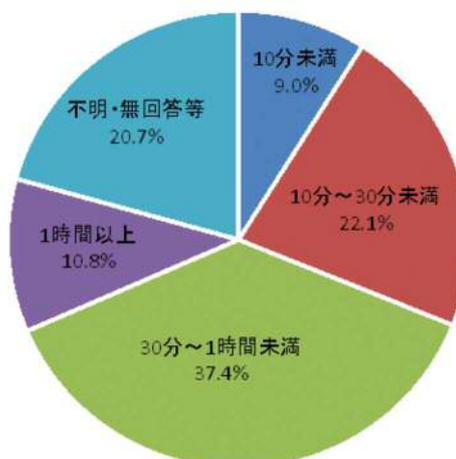
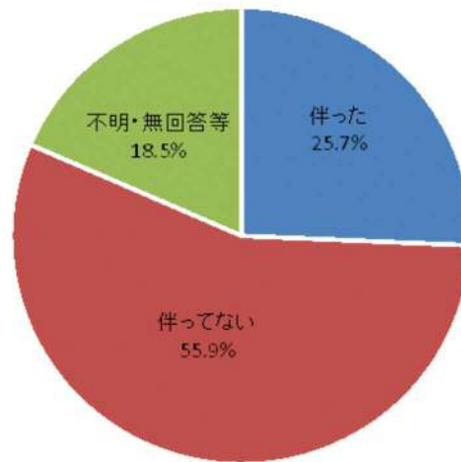


図 勤務地までの所要時間

問 5-2 転入にあたり、勤務地の変更（転職、転勤など）を伴いましたか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

2) 勤務地の変更等の有無

勤務地の変更を「伴っていない」が55.9%と5割以上を占めており、「伴った」が25.7%となっている。



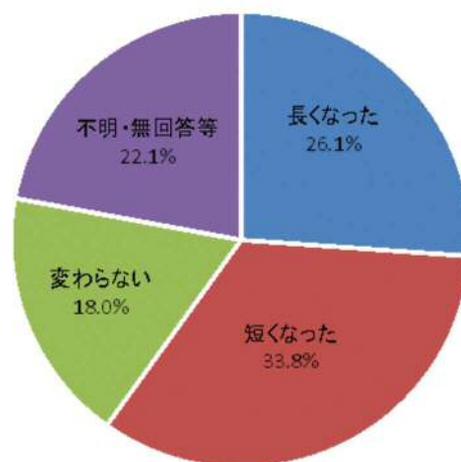
[n=222]

図 勤務地の変更等の有無

問 5-3 転入に伴う通勤時間の変化について、あてはまる番号に1つ○をつけてください。

3) 通勤時間の変化

通勤時間の変化について、「短くなった」が33.8%と最も多く3割以上を占めており、「長くなった」が26.1%、「変わらない」が18.0%でそれに続いている。



[n=222]

図 通勤時間の変化

2.6 居住地の選択について

問 6 居住地選択についておたずねします。

問 6-1 現在のご住所を決めるにあたり、他の地域の物件、土地も探しましたか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1) 他の地域での居住地の探索の有無

住所を決めるにあたり、他の地域の物件、土地を探したかどうかについては、「探していない」が50.5%で5割以上を占めており、「探した」が47.3%でやや少なくなっている。

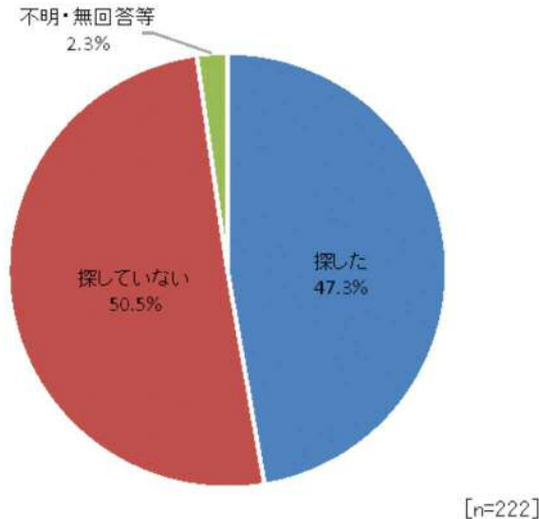


図 居住地の探索の有無

問 6-2 問 6 - 1 で「1. 探した」に○をつけた方におたずねします。探した地域はどこですか。あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）。

2) 探索した居住地

探索した居住地としては「城東区」が22.9%と最も多く2割以上を占めており、「大東市」と「鶴見区」が19.0%、「八尾市」が18.1%でそれに続いている。



図 探索した居住地

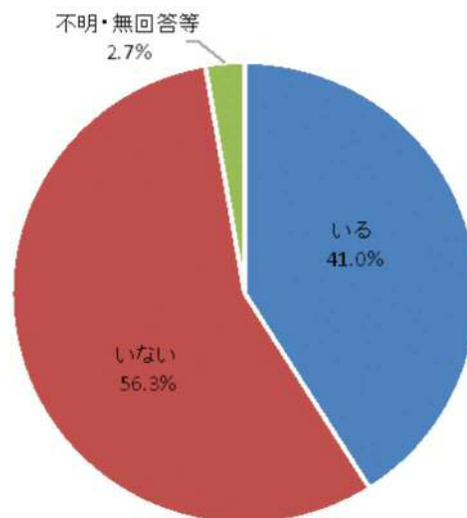
【その他の回答】

●東大阪市内(11 件)	●大阪市内(24 件)	●大阪府下、その他(15 件)
東大阪市(6 件)	大阪市(3 件)	大阪府
長田	天王寺区(4 件)	堺市(2 件)
鴻池新田周辺	中央区(4 件)	守口市(2 件)
新石切駅付近	阿倍野区(3 件)	寝屋川市(2 件)
布施付近	都島区(2 件)	吹田市
近鉄奈良線沿い	西淀川区(2 件)	豊中市
	此花区	門真市
	港区	枚方市
	旭区	北摂
	住之江区	北部(千里方面)等
	北区	柏原市
	徳庵	御堂筋線沿い

問 6-3 転入後の世帯の中で、以前に東大阪市内に住んでいた方はおられますか。あてはまる番号に 1 つ〇をつけてください。

3) 同居家族の東大阪市の居住経験の有無

東大阪市内への居住経験のある同居家族の有無については、「いない」が 56.3%と 5 割以上を占めており、「いる」は 41.0%となっている。



[n=222]

図 同居家族の東大阪市の居住経験の有無

問 6-4 問 6 - 3で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。転入後の世帯の中で最も長く東大阪
市に住んでいた方は何年間居住されていましたか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

4) 同居家族の過去の東大阪市居住年数

同居家族の過去の東大阪市の居住年数については、「20年以上」が57.1%と最も多く5割
以上を占めており、「1～3年未満」「5～10年未満」がともに11.0%でそれに続いている。

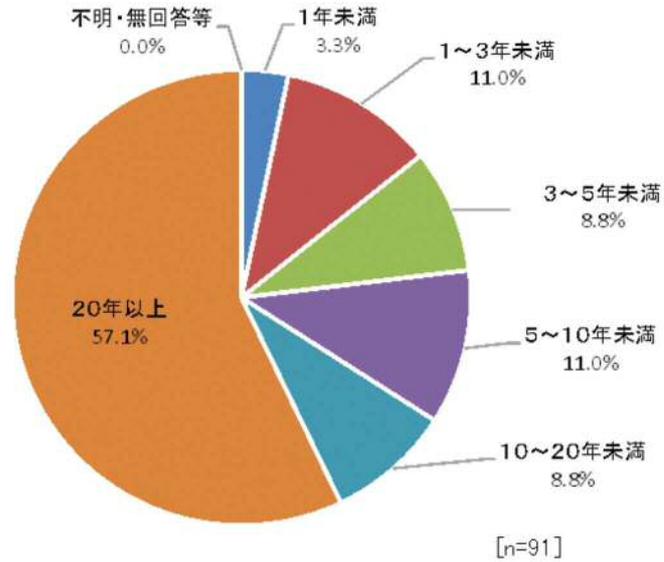


図 同居家族の過去の東大阪市居住年数

問 6-5 東大阪市に居住地を決めた理由は何でしたか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

5) 転入居住地の決定理由

東大阪市に居住地を決めた理由については、「通勤が便利である」が 36.0%と最も多く、「特になし」と「以前東大阪市に住んでいたことがある」が 15.8%、「日常の買い物が便利である」が 15.3%でそれに続いている。

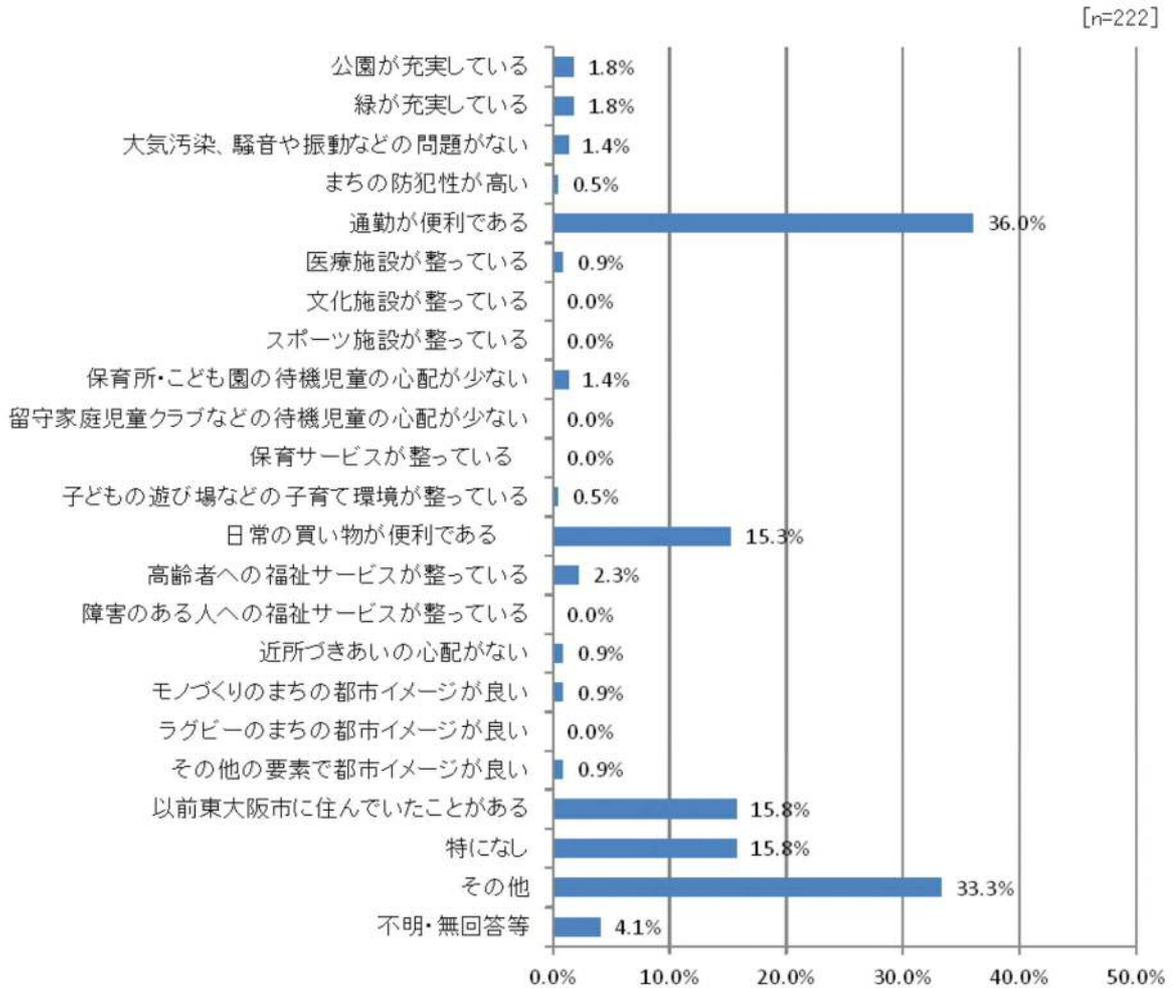


図 転入居住地の決定理由

【その他の回答】

家族や身内などが住んでいる(14件)
実家がある・近い(12件)
会社・社宅がある(5件)
家賃が安い、間取りやペット可など、条件の合う物件があった(11件)
通勤に便利(6件)
自分や家族の地元(4件)
転勤・会社の都合(5件)
通学に便利(3件)
持ち家がある(3件)
知人・役所の紹介(2件)
転入前の住居に近い(2件)
通学していたので馴染みがある(2件)
駐車場代が安い
大阪に近い
なんとなく来た

【クロス集計 転入居住地の決定理由×転入前の住まい】

大阪府（大阪市以外）や奈良県からの転入者については、通勤利便性や買い物利便性を理由として東大阪市への転入を決めた方の割合が高い。

居住地を決めた理由 × 転入前の住まい	回答者数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	不明・無回答等
		公園が充実している	緑が充実している	大気汚染、騒音や振動などの問題がない	まちの防犯性が高い	通勤が便利である	医療施設が整っている	文化施設が整っている	スポーツ施設が整っている	保育所・こども園の待機児童の心配が少ない	留守家庭児童クラブなどの待機児童の心配が少ない	保育サービスが整っている	子どもの遊び場などの子育て環境が整っている	日常の買い物物が便利である	高齢者への福祉サービスが整っている	障害のある人への福祉サービスが整っている	近所づきあいの心配がない	モノづくりのまちな市のイメージが良い	ラグビーのまちな市のイメージが良い	その他の要素で都市イメージが良い	以前東大阪市に住んでいたことがある	特になし	その他	
全体	222	4	4	3	1	79	2	0	0	3	0	0	1	34	5	0	2	2	0	2	34	35	74	9
	-	1.8%	1.8%	1.4%	0.5%	35.6%	0.9%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.5%	15.3%	2.3%	0.0%	0.9%	0.9%	0.0%	0.9%	15.3%	15.8%	33.3%	4.1%
大阪府大阪市	72	4	3	2	1	24	0	0	0	1	0	0	1	8	3	0	0	0	0	1	12	13	22	2
	-	5.6%	4.2%	2.8%	1.4%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	1.4%	11.1%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	16.7%	18.1%	30.6%	2.8%
大阪府（大阪市以外）	59	0	1	1	0	25	0	0	0	2	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	8	9	19	3
	-	0.0%	1.7%	1.7%	0.0%	42.4%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	20.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%	15.3%	32.2%	5.1%
奈良県	14	0	0	0	0	9	1	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	64.3%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	14.3%	14.3%	0.0%
兵庫県	12	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	3	2	4	1
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	25.0%	16.7%	33.3%	8.3%
その他	64	0	0	0	0	18	1	0	0	0	0	0	0	6	2	0	2	1	0	1	10	9	27	2
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.1%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.4%	3.1%	0.0%	3.1%	1.6%	0.0%	1.6%	15.6%	14.1%	42.2%	3.1%
不明・無回答等	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

数値 全体より5.0%以上
数値 全体より-5.0%以下

【クロス集計 居住地を決めた理由×転入の主な要因となった方(年齢)】

転入の主な要因となった方の年齢別にみると、20～50 歳代の働く世代は通勤利便性の割合が比較的高くなっていることがわかる。買い物利便性については、20 歳代では高くなっているものの、30～40 歳代では全体よりも低い割合となっている。

居住地を決めた理由 ×転入の主な要因となった方		回答者数																								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22			
		公園が充実している	緑が充実している	大気汚染、騒音や振動などの問題がない	まちの防犯性が高い	通勤が便利である	医療施設が整っている	文化施設が整っている	スポーツ施設が整っている	保育園・こども園の待機児童の心配が少ない	心配が少ない	留守家庭児童クラブなどの待機児童の心配が少ない	保育サービスが整っている	子どもの遊び場などの子育て環境が整っている	日常の買い物便利である	高齢者への福祉サービスが整っている	障害のある人への福祉サービスが整っている	近所づきあいの心配がない	良い	ラグビーのまちの都市イメージが良い	その他の要素で都市イメージが良い	以前東大阪市に住んでいたことがある	特になし	その他	不明・無回答等	
年齢	全体	222	4	4	3	1	79	2	0	0	3	0	0	1	34	5	0	2	2	0	2	34	35	74	9	
		-	1.8%	1.8%	1.4%	0.5%	35.6%	0.9%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.5%	15.3%	2.3%	0.0%	0.9%	0.9%	0.0%	0.9%	15.3%	15.8%	33.3%	4.1%	
	0～19歳	8	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	4	0	
		-	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	50.0%	0.0%	
	20～29歳	30	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0	0	4	11	0	
		-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	56.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	26.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	36.7%	0.0%	
	30～39歳	34	1	0	0	0	14	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	1	0	0	4	11	9	0
		-	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	41.2%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	11.8%	32.4%	26.5%	0.0%	
40～49歳	13	0	1	1	0	6	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	1	5	0	
	-	0.0%	7.7%	7.7%	0.0%	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	15.4%	7.7%	38.5%	0.0%	
50～59歳	20	0	0	1	0	10	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0	0	1	1	5	1	
	-	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	5.0%	25.0%	5.0%	
60歳以上	23	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	2	0	1	0	0	0	0	8	2	11	1	
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.4%	8.7%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	34.8%	8.7%	47.8%	4.3%	
不明・無回答等	94	2	3	1	0	29	1	0	0	2	0	0	0	13	3	0	0	0	0	1	17	15	29	7		
	-	2.1%	3.2%	1.1%	0.0%	30.9%	1.1%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	13.8%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	18.1%	16.0%	30.9%	7.4%	

数値 全体より5.0%以上
数値 全体より-5.0%以下

2.7 転入前後の住宅の所有関係などについて

問 7 転入前と転入後の住宅の所有関係について、下の一覧表からあてはまる番号を1つ選び、下記の回答欄にそれぞれ記入してください。

1) 転入前後の住宅の所有関係

転入前の住宅の所有関係については、「民間の借家（アパート・賃貸マンションなど）」が34.7%と最も多く、「持家（一戸建）」が27.0%、「持家（分譲マンション）」が6.8%でそれに続いている。

転入後については、「民間の借家（アパート・賃貸マンションなど）」は増加し46.8%となっており、「持家（一戸建）」は減少して15.3%、「持家（分譲マンション）」は増加して10.4%となっている。

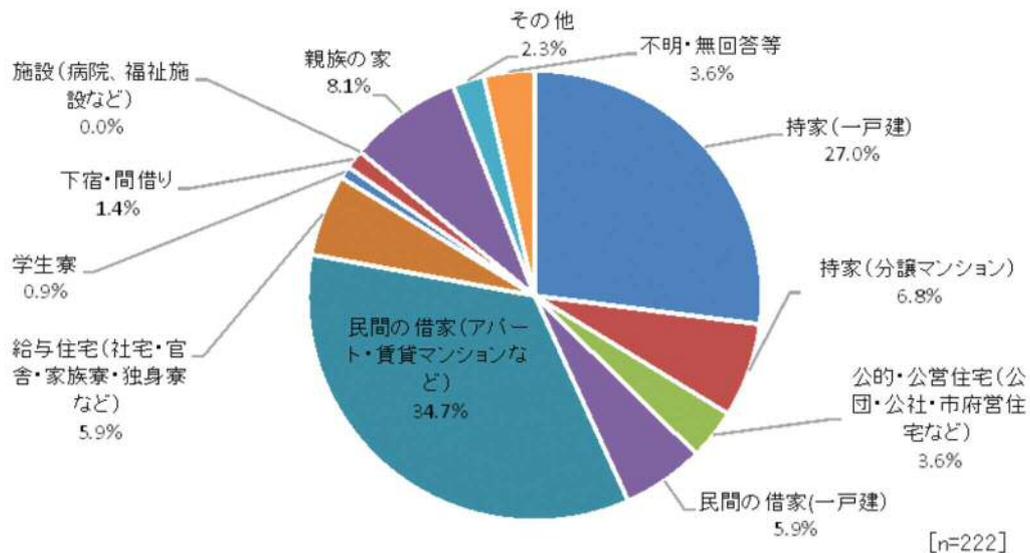


図 転入前の住宅の所有関係

【その他の回答】

UR
持家(※注釈:戸建か分譲かは不明)
家族の家(※注釈:戸建か分譲かは不明)
友人宅

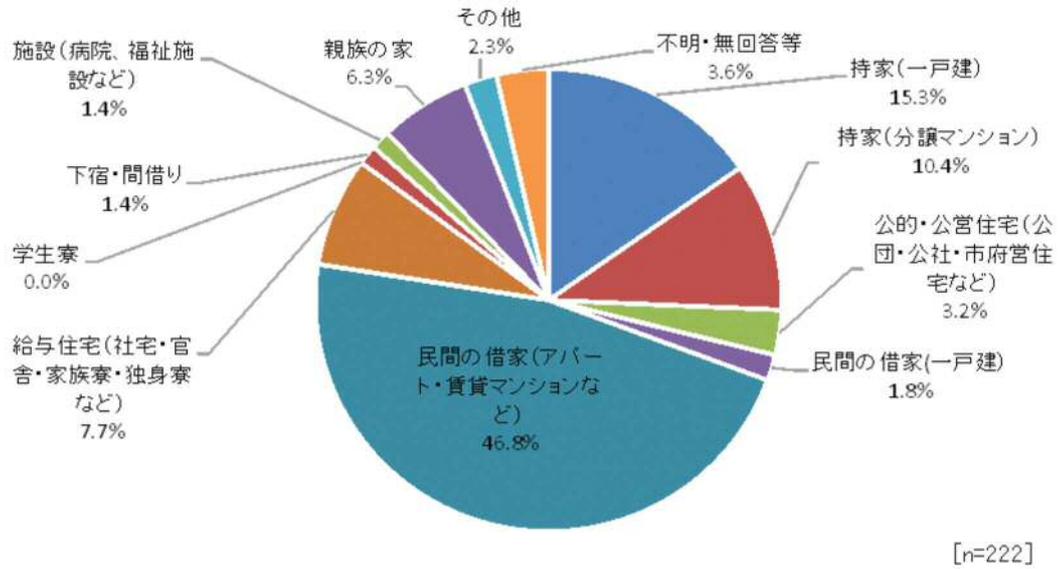


図 転入後の住宅の所有関係

【その他の回答】

UR
住宅型有料
持家(※注釈:戸建か分譲かは不明)

問 8 転入前と転入後の住宅の床面積について、下の一覧表からあてはまる番号を1つ選び、下記の回答欄にそれぞれ記入してください。

2) 転入前後の住宅の床面積

転入前の住宅の床面積については、「40㎡～60㎡未満」が19.8%と最も多く、「20㎡～40㎡未満」と「60㎡～80㎡未満」が14.0%でそれに続いている。

転入後については、「60㎡～80㎡未満」が増加し19.4%と最も多くなっており、「40㎡～60㎡未満」が減少して18.5%、「20㎡～40㎡未満」が増加して16.7%となっている。

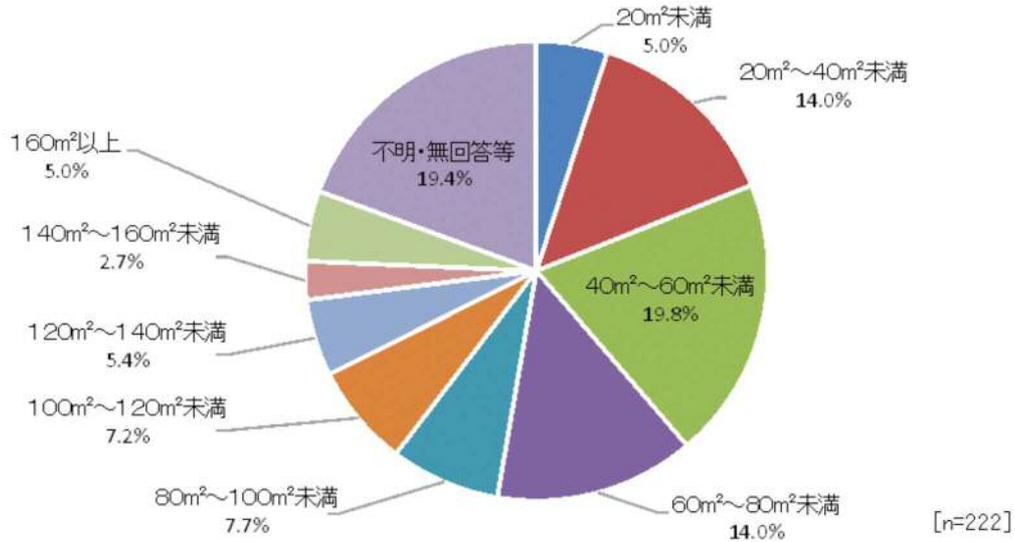


図 転入前の住宅の床面積

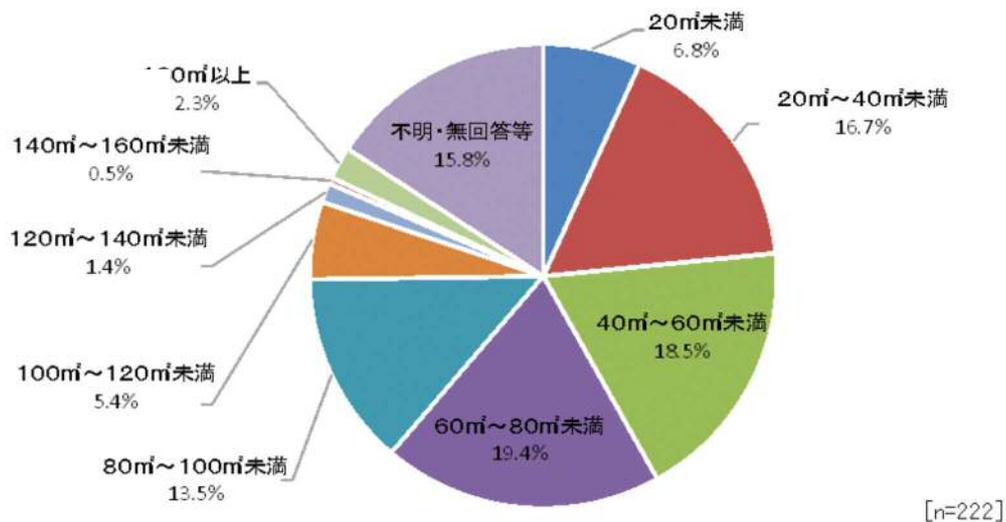


図 転入後の住宅の床面積

2.8 東大阪市での居住に対する評価について

問 9 あなたは東大阪市に住んでよかったと思いますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1) 東大阪市での居住に対する評価

東大阪市に住んでよかったと思うかどうかについては、「まあそう思う」が45.9%と最も多く、「そう思う」が22.5%でそれに続いており、これらを合わせると、東大阪市での居住に対して肯定的に評価している方の割合が68.4%となり、7割近くを占めている。

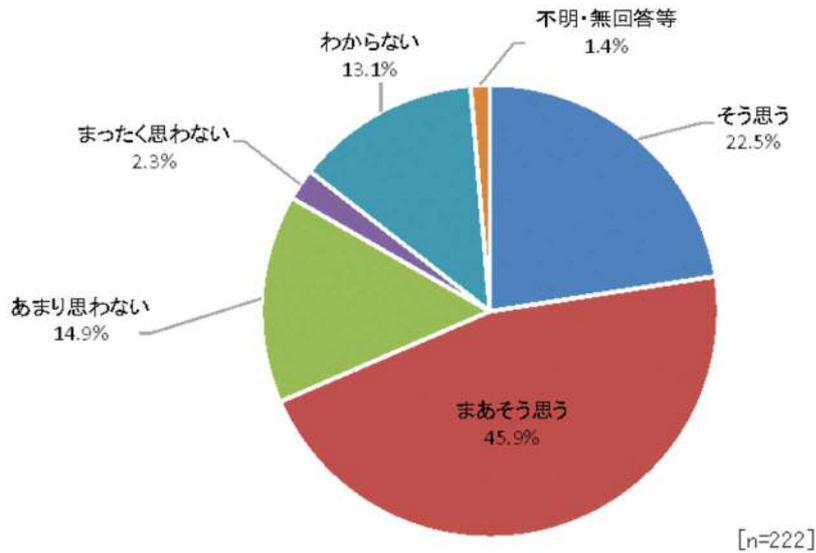


図 東大阪市での居住に対する評価

【クロス集計 東大阪市に住んでよかったか×転入前の住まい】

転入前の住まい別にみると、奈良県や兵庫県からの転入者は、まあそう思うの割合が高く、東大阪市の居住への満足度が比較的高いが、大阪市からの転入者はまあそう思うがやや少なく、わからないが多い。

東大阪市に住んでよかったか ×転入前の住まい		回答者数	1	2	3	4	5	不明・無回答等
			そう思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない	わからない	
全体		222	50	102	33	5	29	3
		-	22.5%	45.9%	14.9%	2.3%	13.1%	1.4%
大阪府大阪市		72	16	29	11	0	15	1
		-	22.2%	40.3%	15.3%	0.0%	20.8%	1.4%
大阪府 (大阪市以外)		59	15	29	9	1	4	1
		-	25.4%	49.2%	15.3%	1.7%	6.8%	1.7%
奈良県		14	3	10	0	0	1	0
		-	21.4%	71.4%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%
兵庫県		12	2	9	0	0	1	0
		-	16.7%	75.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
その他		64	14	25	13	3	8	1
		-	21.9%	39.1%	20.3%	4.7%	12.5%	1.6%
不明・無回答等		1	0	0	0	1	0	0
		-	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

数値

全体より5.0%以上

数値

全体より-5.0%以下

【クロス集計 東大阪市に住んでよかったか×転入後の同居家族(中学生以下の子どもの有無と年齢)】

中学生以下の子どもの有無と年齢別にみると、就学前の子どもや小・中学生の子どもがいる世帯は、そう思うやまあそう思うの割合が低く、あまり思わないの割合が高い傾向にあり、子育て環境や教育環境等への不満から満足度が低くなっている可能性が想定される。

東大阪市に住んでよかったか × 転入後の同居家族		回答件数	1	2	3	4	5	不明・無回答等
			そう思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない	わからない	
中学生以下の子どもの有無と年齢	有効回答数全体	227	51	104	35	5	29	3
		-	22.5%	45.8%	15.4%	2.2%	12.8%	1.3%
	就学前(0～6歳以下)の子どもが一人以上いる世帯	32	5	14	6	1	6	0
		-	15.6%	43.8%	18.8%	3.1%	18.8%	0.0%
	小・中学生(7～15歳以下)の子どもが一人以上いる世帯	13	1	5	6	0	1	0
	-	7.7%	38.5%	46.2%	0.0%	7.7%	0.0%	
中学生以下(0～15歳以下)の子どもがいない世帯	182	45	85	23	4	22	3	
	-	24.7%	46.7%	12.6%	2.2%	12.1%	1.6%	

【クロス集計 東大阪市に住んでよかったか×転入後の同居家族(中学生以下の子どもが一人以上いる世帯の両親の就業状況)】

中学生以下の子どもがいる世帯の両親の就業状況別にみると、共働き世帯は、そう思うやまあそう思うの割合が低く、あまり思わないの割合が高い傾向にあり、一方のみが就業している世帯では、そう思うやまあそう思うの割合が高く、あまり思わないの割合が低い傾向にある。

東大阪市に住んでよかったか × 転入後の同居家族		回答件数	1	2	3	4	5	不明・無回答等
			そう思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない	わからない	
中学生以下世帯の両親の就業状況が一人以上いる	有効回答者数全体(非該当除く)	40	5	17	10	1	7	0
		-	12.5%	42.5%	25.0%	2.5%	17.5%	0.0%
	共働き	11	0	4	5	0	2	0
		-	0.0%	36.4%	45.5%	0.0%	18.2%	0.0%
	一方のみ就業	24	5	11	3	1	4	0
	-	20.8%	45.8%	12.5%	4.2%	16.7%	0.0%	
その他	5	0	2	2	0	1	0	
	-	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	

【クロス集計 東大阪市に住んでよかったか×転入の主な要因となった方(年齢)】

転入の主な要因となった方の年齢別にみると、20歳代はそう思うやまあそう思うの割合が高く、あまり思わないの割合が低い傾向にあり、30～40歳代はそう思うやまあそう思うの割合が低く、あまり思わないの割合が高い傾向にある。学生や学校卒業後の就職後の就業期間の短い20歳代の満足度は比較的高いが、結婚や子育てをしているファミリー層となる30～40歳代の満足度は比較的低いと想定される。

	東大阪市に住んでよかったか ×転入の主な要因となった方	回答者数	1	2	3	4	5	不明・無回答等
			そう思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない	わからない	
年齢	全体	222	50	102	33	5	29	3
		-	22.5%	45.9%	14.9%	2.3%	13.1%	1.4%
	0～19歳	8	2	3	2	0	1	0
		-	25.0%	37.5%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%
	20～29歳	30	9	14	4	2	1	0
		-	30.0%	46.7%	13.3%	6.7%	3.3%	0.0%
	30～39歳	34	8	11	9	1	5	0
		-	23.5%	32.4%	26.5%	2.9%	14.7%	0.0%
	40～49歳	13	3	2	2	0	6	0
		-	23.1%	15.4%	15.4%	0.0%	46.2%	0.0%
50～59歳	20	5	9	1	0	5	0	
	-	25.0%	45.0%	5.0%	0.0%	25.0%	0.0%	
60歳以上	23	5	8	3	1	5	1	
	-	21.7%	34.8%	13.0%	4.3%	21.7%	4.3%	
不明・無回答等	94	18	55	12	1	6	2	
	-	19.1%	58.5%	12.8%	1.1%	6.4%	2.1%	

2.9 東大阪市への定住意向について

問 10-1 今後も東大阪市に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1) 東大阪市への定住意向

今後も東大阪市に住み続けたいと思うかについては、「できれば住み続けたい」が37.8%と最も多く、「わからない」が33.8%、「できれば他の市町村に移りたい」が14.4%でそれに続いている。

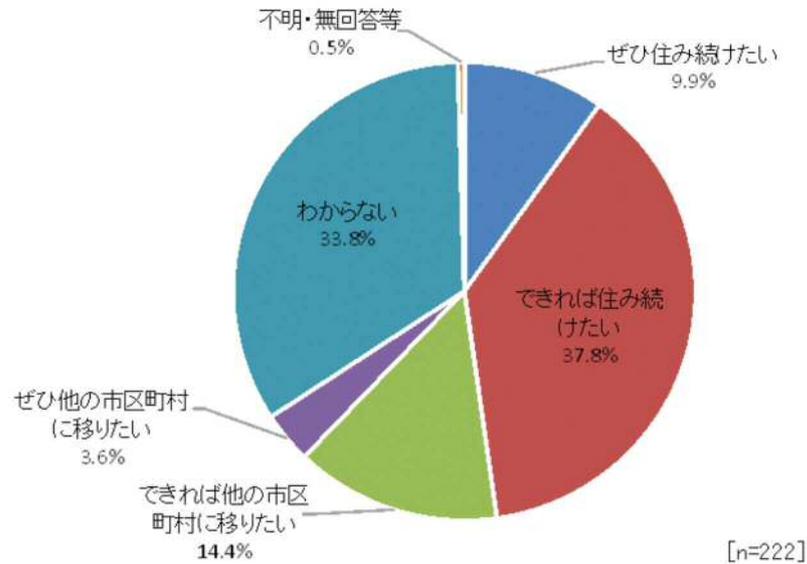


図 東大阪市への定住意向

問 10-2 問 10-1 で「3. できれば他の市区町村に移りたい」又は「4. ぜひ他の市区町村に移りたい」に○をつけた方におたずねします。その理由を次の項目から 2 つ選び、該当する番号を優先順位の高いものから回答欄に記入してください。

2) 東大阪市からの移住意向理由

東大阪市から他の市区町村に移りたい理由のうち、優先順位が 1 位のものとしては、「通勤・通学などで便利なところに住み替えたい」が 27.5%と最も多く、「買い物など日常生活に便利なところに住み替えたい」が 10.0%でそれに続いている。なお、優先順位 1 位と 2 位の合計としては、「買い物など日常生活に便利なところに住み替えたい」が 30.0%でもっと多くなっている。

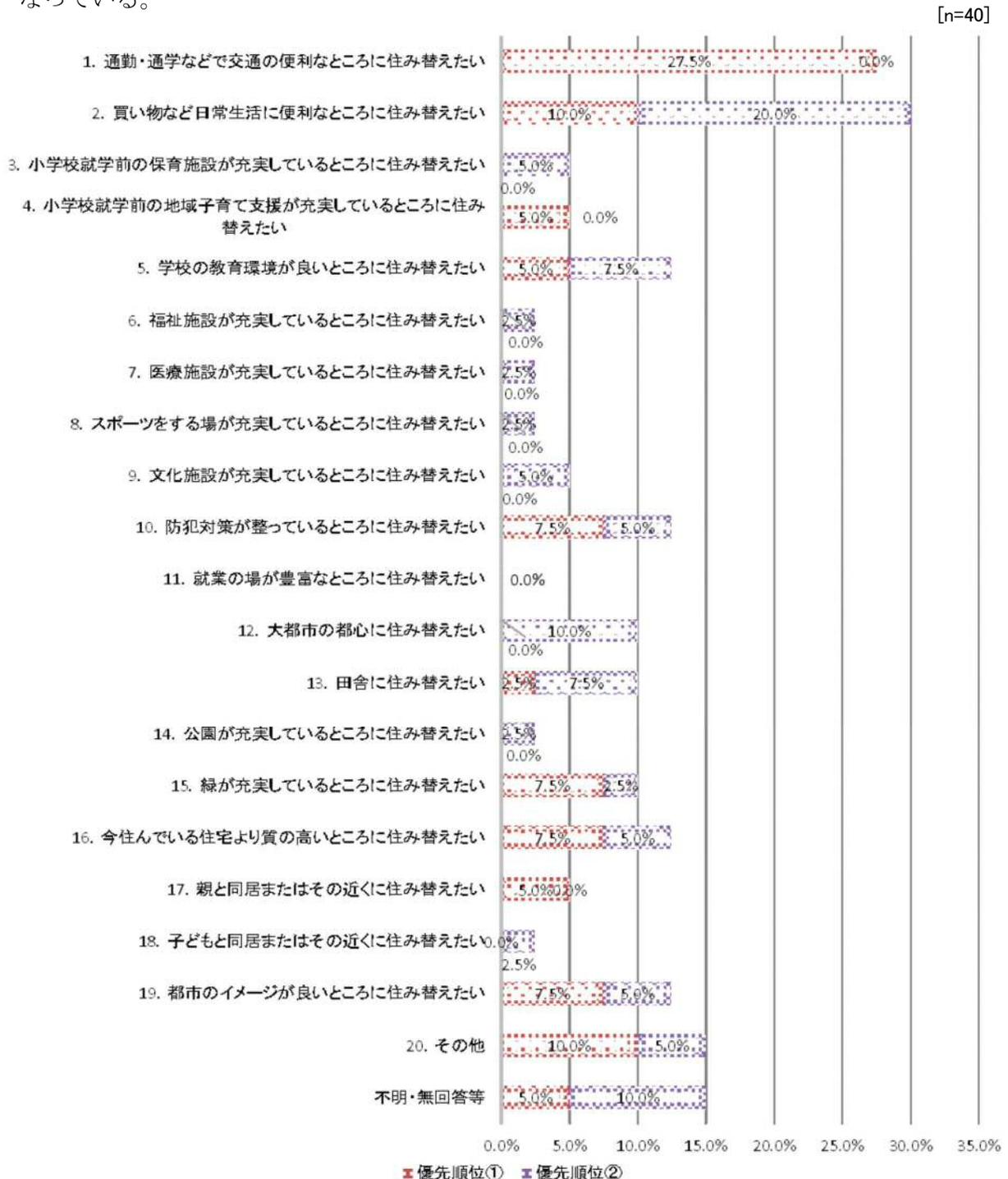


図 東大阪市からの移住意向理由

【その他の回答:優先順位①】

会社の近くにしたいから

教育の助成金などが充実しているところに住み替えたい

【その他の回答:優先順位②】

地元に帰りたい

暴走族が多い

【その他の回答:対象外（問 10-1 は 5.わからない を選択）】

自転車で行けるところが限られているのと、車優先の道路が多い気がする。自転車で走りやすい路が少ないと思った。

その時に判断する

【クロス集計 東大阪市に住み続けたいか×転入前の住まい】

転入前の住まい別にみると、大阪市や大阪府（大阪市以外）、奈良県、兵庫県においては、ぜひ住み続けたいやできれば住み続けたいの合計が全体よりもやや多い傾向にある。

東大阪市に住み続けたいか ×転入前の住まい		回答者数	1	2	3	4	5	不明・無回答等
			ぜひ住み続けたい	できれば住み続けたい	できれば他の市区町村に移りたい	ぜひ他の市区町村に移りたい	わからない	
転入前の 住まい	全体	222	22	84	32	8	75	1
		-	9.9%	37.8%	14.4%	3.6%	33.8%	0.5%
	大阪府大阪市	72	5	31	13	0	22	1
		-	6.9%	43.1%	18.1%	0.0%	30.6%	1.4%
	大阪府 (大阪市以外)	59	7	24	5	2	21	0
		-	11.9%	40.7%	8.5%	3.4%	35.6%	0.0%
	奈良県	14	3	5	0	0	6	0
		-	21.4%	35.7%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%
兵庫県	12	1	7	0	1	3	0	
	-	8.3%	58.3%	0.0%	8.3%	25.0%	0.0%	
その他	64	6	17	14	4	23	0	
	-	9.4%	26.6%	21.9%	6.3%	35.9%	0.0%	
不明・無回答等	1	0	0	0	1	0	0	
	-	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

数値	全体より5.0%以上
数値	全体より-5.0%以下

【クロス集計 東大阪市に住み続けたいか×転入後の世帯構成】

転入後の世帯構成別にみると、夫婦のみ世帯においては、できれば他の市区町村に移りたいやぜひ他の市区町村に移りたいの合計が全体よりもやや多い。

東大阪市に住み続けたいか × 転入後の世帯構成		回答者数	1	2	3	4	5	不明・無回答等
			ぜひ住み続けたい	できれば住み続けたい	できれば他の市区町村に移りたい	ぜひ他の市区町村に移りたい	わからない	
転入後の世帯構成	全体	222	22	84	32	8	75	1
		-	9.9%	37.8%	14.4%	3.6%	33.8%	0.5%
	ひとり世帯	67	3	30	7	4	22	1
		-	4.5%	44.8%	10.4%	6.0%	32.8%	1.5%
	夫婦のみ	74	7	27	16	0	24	0
		-	9.5%	36.5%	21.6%	0.0%	32.4%	0.0%
	二世帯同居 (親と子ども)	63	9	22	8	2	22	0
		-	14.3%	34.9%	12.7%	3.2%	34.9%	0.0%
	三世帯同居 (祖父母と親と子ども)	9	2	2	0	1	4	0
		-	22.2%	22.2%	0.0%	11.1%	44.4%	0.0%
その他	8	1	3	1	0	3	0	
	-	12.5%	37.5%	12.5%	0.0%	37.5%	0.0%	
不明・無回答等	1	0	0	0	1	0	0	
	-	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

数値	全体より5.0%以上
数値	全体より-5.0%以下

【クロス集計 東大阪市に住み続けたいか×転入後の同居家族(中学生以下の子どもの有無と年齢)】

中学生以下の子どもの有無と年齢別にみると、就学前の子どもや小・中学生の子どもがいる世帯は、ぜひ住み続けたいやできれば住み続けたいの合計の割合が高く、できれば他の市区町村に移りたいやぜひ他の市区町村に移りたいの合計の割合が低い。一方で、小・中学生の子どもがいる世帯では、ぜひ住み続けたいやできれば住み続けたいの合計の割合が低く、できれば他の市区町村に移りたいやぜひ他の市区町村に移りたいの合計の割合が高い。

東大阪市に住み続けたいか × 転入後の同居家族		回答件数	1	2	3	4	5	不明・無回答等
			ぜひ住み続けたい	できれば住み続けたい	できれば他の市区町村に移りたい	ぜひ他の市区町村に移りたい	わからない	
中学生以下の子どもの有無と年齢	有効回答数全体	227	23	86	34	8	75	1
		-	10.1%	37.9%	15.0%	3.5%	33.0%	0.4%
	就学前(0~6歳以下)の子どもが一人以上いる世帯	32	5	11	4	1	11	0
		-	15.6%	34.4%	12.5%	3.1%	34.4%	0.0%
小・中学生(7~15歳以下)の子どもが一人以上いる世帯	13	1	3	3	1	5	0	
	-	7.7%	23.1%	23.1%	7.7%	38.5%	0.0%	
中学生以下(0~15歳以下)の子どもがいない世帯	182	17	72	27	6	59	1	
	-	9.3%	39.6%	14.8%	3.3%	32.4%	0.5%	

数値	全体より5.0%以上
数値	全体より-5.0%以下

【クロス集計 東大阪市に住み続けたいか×転入後の同居家族(中学生以下の子どもが一人以上いる世帯の両親の就業状況)】

中学生以下の子どもがいる世帯の両親の就業状況別にみると、一方のみが就業している世帯では、ぜひ住み続けたいやできれば住み続けたいの合計の割合が高く、できれば他の市区町村に移りたいやぜひ他の市区町村に移りたいの合計の割合が低い。

東大阪市に住み続けたいか × 転入後の同居家族		回答件数	1	2	3	4	5	不明・無回答等
			ぜひ住み続けたい	できれば住み続けたい	できれば他の市区町村に移りたい	ぜひ他の市区町村に移りたい	わからない	
中学生以下の子どもが一人以上いる	有効回答者数全体 (非該当除く)	40	5	12	5	2	16	0
		-	12.5%	30.0%	12.5%	5.0%	40.0%	0.0%
	共働き	11	0	4	1	1	5	0
		-	0.0%	36.4%	9.1%	9.1%	45.5%	0.0%
	一方のみ就業	24	5	8	2	1	8	0
		-	20.8%	33.3%	8.3%	4.2%	33.3%	0.0%
その他	5	0	0	2	0	3	0	
	-	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%	

数値	全体より5.0%以上
数値	全体より-5.0%以下

2.10 自由意見

東大阪市へのご意見などをご自由にお書きください。

自由意見について、現行の総合計画の体系別に整理を行った。「安全ですみよいまちづくり」に関連する意見の数が最も多くなっており、中でも都市交通環境や災害、都市環境に関する意見が多く、市民の関心が高いことがうかがえる。

表 自由意見の概要

意 見	件 数
■自由意見総数	75
■市民が主体となったまちづくり	3
○市民自治のまちづくり	0
○人権尊重と平和のまちづくり	0
○都市行政の総合的な推進 ・補助制度がほしい ・税金が高い 等	3
■市民文化を育むまちづくり	12
○市民文化の創造 ・文化施設が少ない、遠い	3
○交流文化の創造 ・国内外への観光アピール ・大学との協同による文化度の向上 等	2
○生涯学習環境の充実	0
○学校教育の充実 ・学校設備整備の遅れ 等	2
○青少年が健やかに育つまちづくり	0
○スポーツ・レクリエーションの推進 ・スポーツ施設等が少ない、遠い 等	5
■健康と市民福祉のまちづくり	22
○健康で元気な市民づくり ・医療サービスの向上(子ども医療費無償化) 等	7
○地域福祉のまちづくり	0
○長寿社会を支える福祉の充実 ・高齢者が出かけやすい施設や公園等 ・高齢者福祉の対応は良い	2
○障害者(児)福祉の充実	0
○健やかに子どもを育む福祉の充実 ・子育て支援・補助等の充実 ・待機児童の削減 等	13
○生活自立の援助	0
■活力ある産業社会を切り拓くまちづくり	8
○中小企業活性化の推進 ・企業誘致の推進 ・中小企業のアピール、労働力向上 等	2
○都市型産業の振興 ・商店、飲食店が少ない ・商店街のアーケード整備 等	6
○産業活性化のための環境の整備	0
○消費生活の充実	0
■安全で住みよいまちづくり	66

意見		件数
○魅力ある都市環境の形成 ・市役所等の公的施設の立地が不便 ・まちなかにごみが目立つ ・緑が少ない ・公園の増設 ・古い建物の整備 等		16
○総合的な都市交通環境の充実 ・道路整備(拡幅、歩車分離、路面等) ・公共交通が不便 ・自転車のマナー 等		21
○災害に強いまちづくり ・防災、防犯対策の強化 ・治安が悪い、マナー・モラルの意識が低い		18
○暮らしを支える環境づくり ・環境汚染(大気、水質、騒音等) ・ごみの分別・収集について 等		11
■その他		32
○肯定的意見 ・住みやすい ・ラグビーW杯に期待		13
○否定的意見 ・魅力がない 等		3
○市への要望 ・サービス、補助等の充実 ・職員の質向上		12
○その他・特になし		4

※一つの回答の中に複数の分野に関する意見が含まれていることがあるため、意見の総数と各分類の件数の合計は一致しない。

3 転出者アンケート調査の結果

3.1 転出前後のお住まいについて

問 1 転入前後のお住まいについておたずねします。

問 1-1 以前にお住まいの町丁目を教えてください。

1) 転出前の住まい

転出前の住まいを小学校区別にみると、片町線沿線の成和が最も多く、近畿自動車道以西の小学校区に7以上の小学校区が多く分布している。

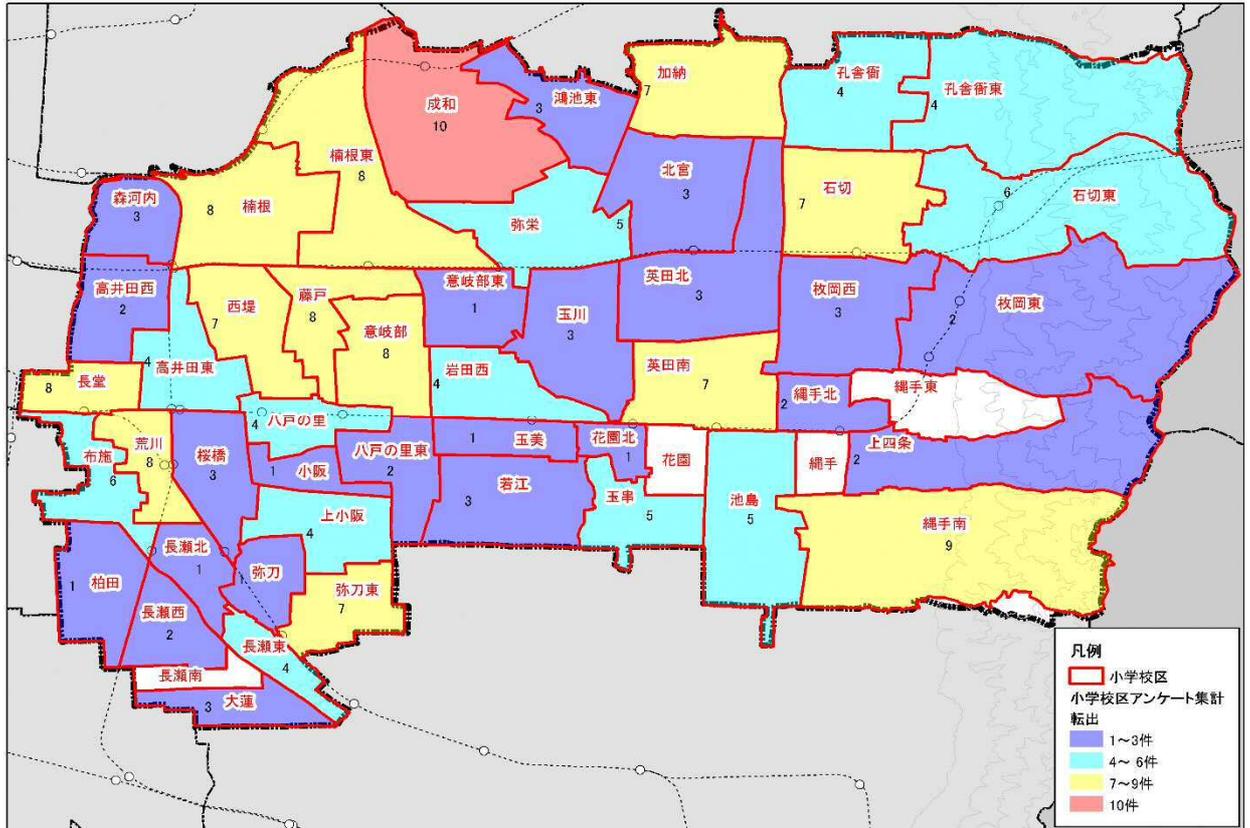


図 転出前の住まい(小学校区別)

表 転出前の住まい(小学校区別)

前住所		回答数	比率
1	成和	10	4.6%
2	繩手南	9	4.2%
3	意岐部	8	3.7%
4	荒川	8	3.7%
5	長堂	8	3.7%
6	藤戸	8	3.7%
7	楠根	8	3.7%
8	楠根東	8	3.7%
9	英田南	7	3.2%
10	加納	7	3.2%

前住所		回答数	比率
11	西堤	7	3.2%
12	石切	7	3.2%
13	弥刀東	7	3.2%
14	石切東	6	2.8%
15	布施	6	2.8%
16	玉串	5	2.3%
17	池島	5	2.3%
18	弥栄	5	2.3%
19	岩田西	4	1.9%
20	孔舎衛	4	1.9%
21	孔舎衛東	4	1.9%
22	高井田東	4	1.9%
23	上小阪	4	1.9%
24	長瀬東	4	1.9%
25	八戸の里	4	1.9%
26	英田北	3	1.4%
27	玉川	3	1.4%
28	鴻池東	3	1.4%
29	桜橋	3	1.4%
30	若江	3	1.4%
31	森河内	3	1.4%
32	大蓮	3	1.4%
33	北宮	3	1.4%
34	枚岡西	3	1.4%
35	高井田西	2	0.9%
36	上四条	2	0.9%
37	長瀬西	2	0.9%
38	縄手北	2	0.9%
39	八戸の里東	2	0.9%
40	枚岡東	2	0.9%
41	意岐部東	1	0.5%
42	花園北	1	0.5%
43	玉美	1	0.5%
44	小阪	1	0.5%
45	長瀬北	1	0.5%
46	柏田	1	0.5%
47	弥刀	1	0.5%
48	学区不明	2	0.9%
	不明・無回答等	11	5.1%
	回答者数 (人)	216	

問 1-2 今お住まいの都道府県、市区町村、町丁目を教えてください。

2) 転出後の住まい

転出後の住まいについては、「大阪市」が28.7%と最も多く、次いで「大阪府（大阪市・堺市を除く）」が22.2%となっており、堺市（1.9%）を含めると52.8%と約6割を大阪府が占めている。

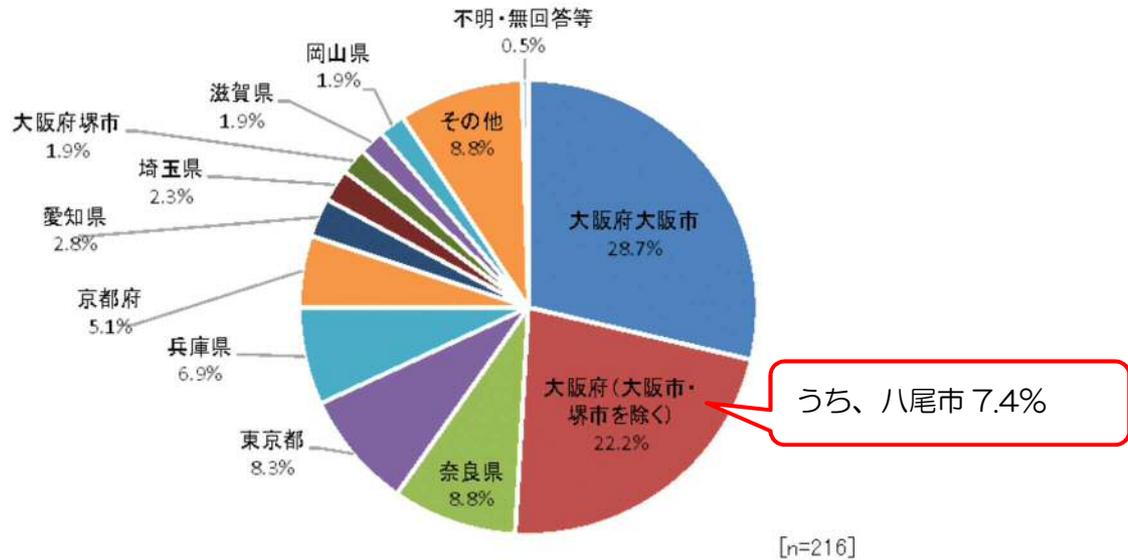


図 転出後の住まい

【大阪府内市区町村別】

現住所		回答数
1	八尾市	16
2	大阪市城東区	7
3	大阪市鶴見区	7
4	大阪市東淀川区	5
5	大阪市東成区	5
6	大阪市西区	4
7	大阪市中央区	4
8	大阪市淀川区	4
9	大阪市浪速区	4
10	大阪市平野区	3
11	大阪市北区	3
12	大東市	3
13	豊中市	3
14	吹田市	3
15	松原市	3
16	羽曳野市	3
17	大阪市阿倍野区	2
18	大阪市生野区	2
19	大阪市天王寺区	2
20	大阪市都島区	2
21	堺市堺区	2
22	交野市	2
23	守口市	2
24	泉南市	2
25	大阪市旭区	1
26	大阪市住吉区	1
27	大阪市住之江区	1
28	大阪市西淀川区	1
29	大阪市東住吉区	1
30	大阪市福島区	1
31	大阪市此花区	1
32	大阪市（区名未記入）	1
33	堺市東区	1
34	堺市北区	1
35	寝屋川市	1
36	摂津市	1
37	門真市	1
38	箕面市	1
39	茨木市	1
40	高槻市	1
41	柏原市	1
42	富田林市	1
43	大阪狭山市	1
44	藤井寺市	1
45	和泉市	1
回答者数 216（人）のうち		114

3.2 転出前後の世帯構成について

問 2 転出前後の世帯の構成について、あてはまる番号に1つ○をつけてください。

問 2 -1 転出前の世帯構成を教えてください。

1) 転出前の世帯構成

転出前の世帯構成は、「二世帯同居（親と子ども）」が43.5%と最も多く、次いで「ひとり世帯」（27.3%）、「夫婦のみ」（19.4%）となっている。

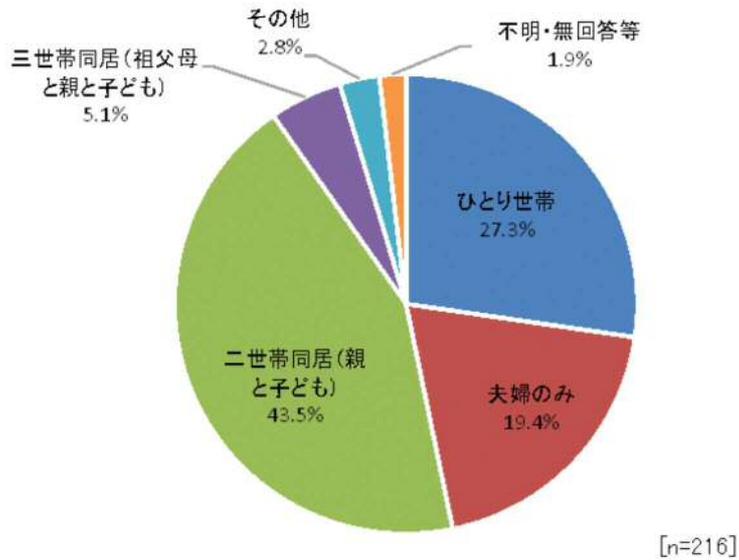


図 転出前の世帯構成

【その他の回答】

ルームシェア(2件)
兄弟
介護施設
実家
国際コミュニティ

問 2 -2 転出後の世帯構成を教えてください。

2) 転出後の世帯構成

転出後の世帯構成は、「夫婦のみ」が 32.4%で「二世帯同居（親と子ども）」の 29.6%を上回っており、夫婦のみ世帯が 12.5%増加している。「ひとり世帯」は 30.1%で、転出前とほぼ変わらない値となっている。

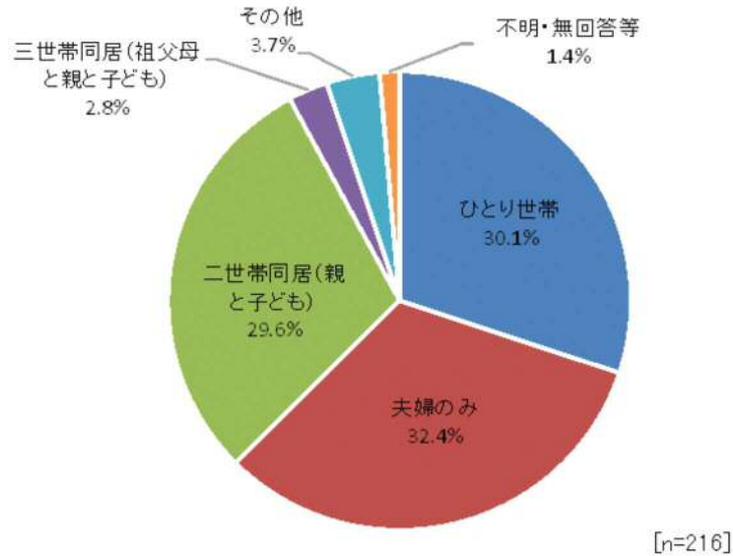


図 転出後の世帯構成

【その他の回答】

ルームシェア(2件)
グループホーム(3件)
国際コミュニティ
施設
姉妹

3.3 転出後の同居家族について

問3 世帯構成についてご記入ください。

また、転出の最も大きな要因となった方はどなたですか。あてはまる方の番号に1つ○をつけてください。

1) 中学生以下の子どもがいる世帯の割合とその就業状況

「中学生以下の子どもがいない世帯」が81.9%と高い値となっている。中学生以下の子どもがいる世帯については、「就学前（0～6歳以下）の子どもが一人以上いる世帯」の割合が15.3%と最も多くなっている。

また、「中学生以下（0～15歳以下）の子どもが一人以上いる世帯」の両親の就業状況を見ると、「両親ともに就業している世帯」が56.4%、「両親の一方のみが就業している世帯」が30.8%となっている。

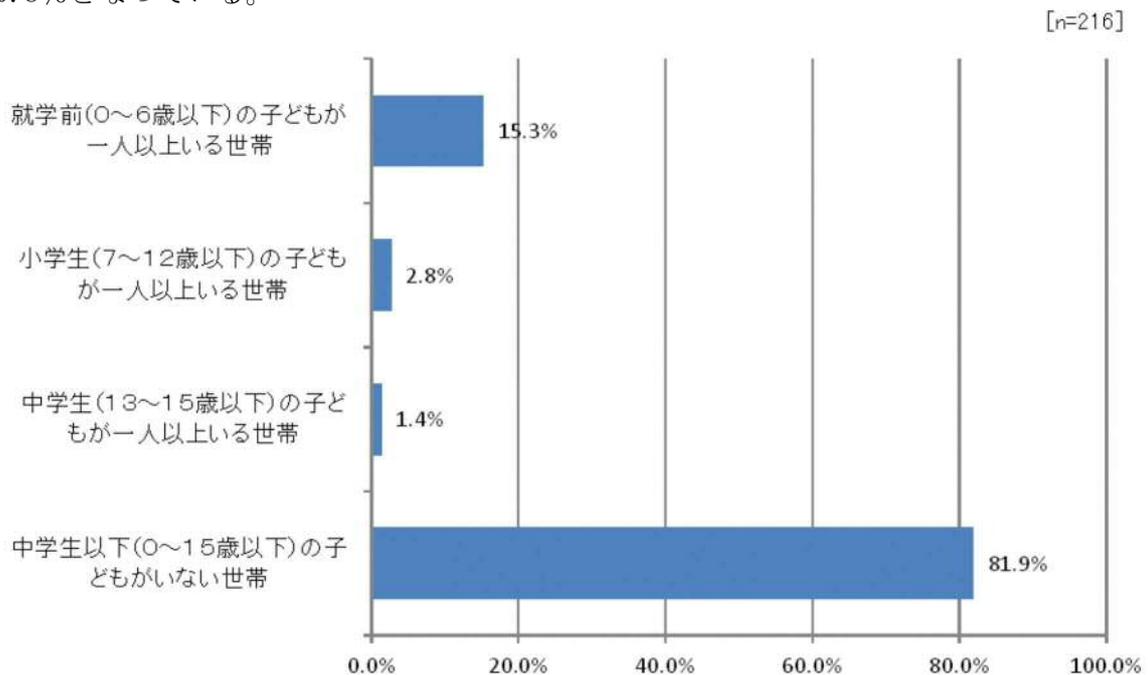


図 同居家族の子どもの年齢分類

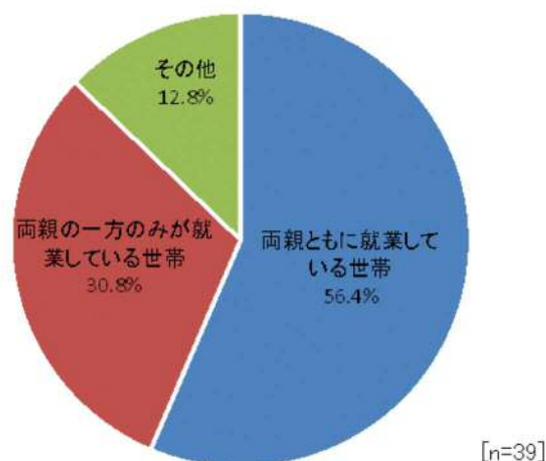


図 中学生以下(0～15歳以下)の子どもが一人以上いる世帯の両親の就業状況

2) 転出の最も大きな要因となった同居家族について

年齢では、20～34歳の若い世代と45～49歳の割合が比較的多い。
性別では「男性」が36.1%、「女性」が29.2%と男性の割合が高くなっている。
職業の有無では「有」が51.4%、「無」が13.4%と職業を持つ方の割合が高い。

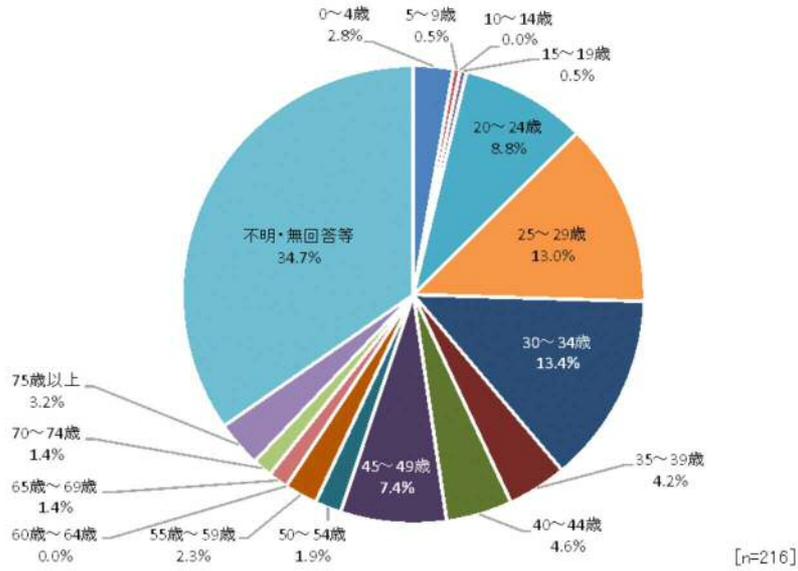


図 転出の要因となった家族の年齢

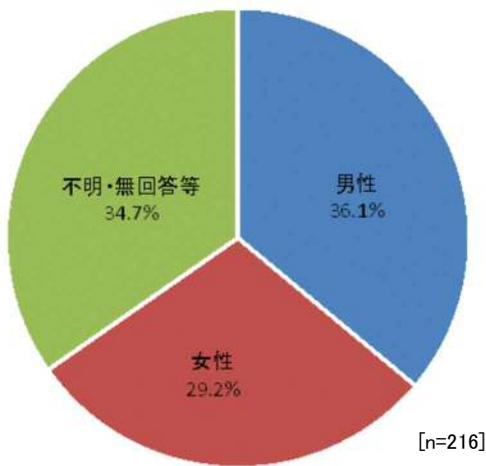


図 転出の要因となった家族の性別

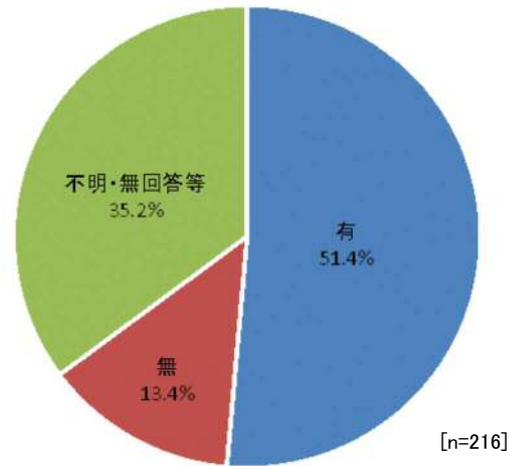


図 転出の要因となった家族の職業の有無

3.4 転出理由について

問 4 転出理由についておたずねします。

問 4-1 問 3 で○をされた転入の最も大きな要因となった方についておたずねします。転出の一番大きなきっかけとなったできごとは何でしたか。あてはまる番号に 1 つ○をつけてください。

1) 転出の理由

転出の理由としては、「職業上の理由」が 34.3%で最も多く、次いで「結婚・離婚などの理由」が 25.9%、「家族などの理由」が 11.6%となっている。

具体的にみると、「結婚」が 22.7%で最も多く、次いで「転勤」が 10.2%となっている。

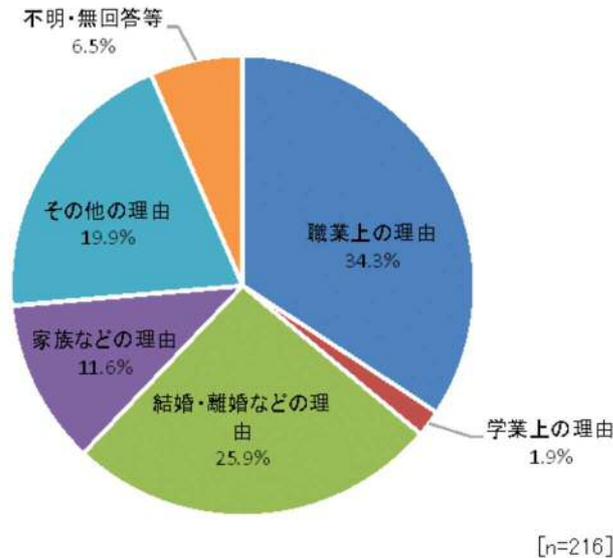


図 転出の理由(大分類)

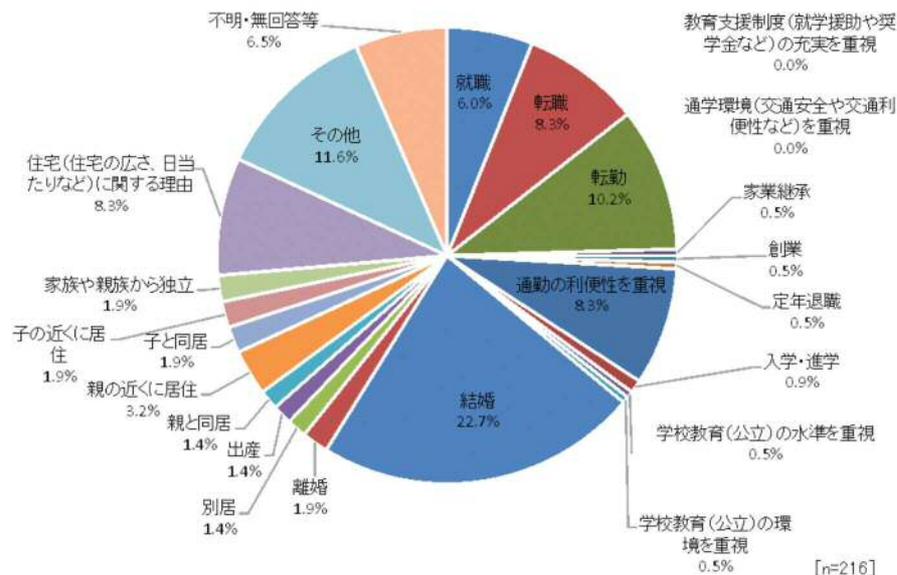


図 転出の理由(小分類)

【その他の回答】

病気、入院のため(6件)
立ち退き(3件)
社宅等の期限(2件)
住宅を購入
自宅売却
持家一戸建
障がい者住宅へ
障がい者の自立に向けての生活の為
保育園が無かった(希望の所に行けなかった)
大阪市に住みたかった
以前から現住所に転出する予定であったため
騒音
言いたくない

問 4-2 問 4-1 で「22.住宅（住宅の広さ、日当たりなど）に関する理由」に○をつけた方におたずねします。転出前に住んでいた住宅に関して、転出を考えた理由は何でしたか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

2) 転出の要因となった前住宅に関する理由

前住宅に関する理由としては、「住宅を購入したかった」が44.4%で最も高く、次いで「手狭になった」が33.3%、「家賃が高かった」が22.2%となっている。

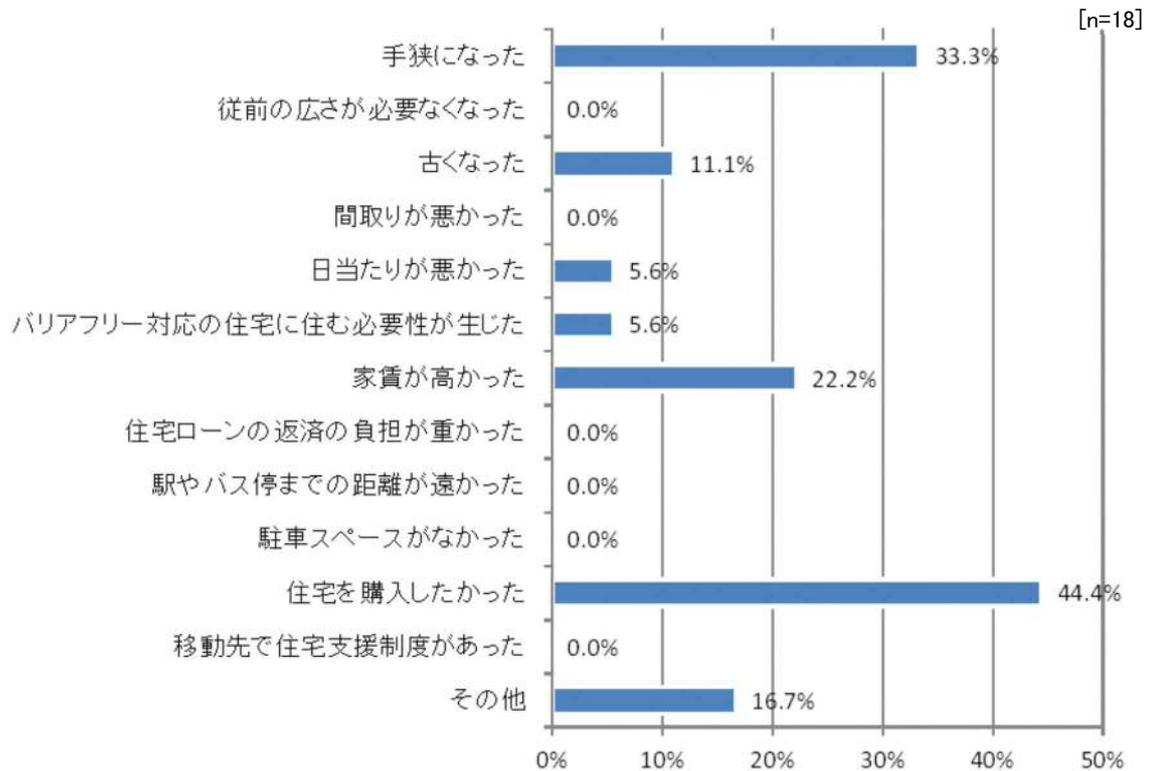


図 転出の要因となった前住宅に関する理由

【その他の回答】

音(外、階上)、動物(イヌ、ネコ)の声、上の階からのベランダの水
幹線道路沿い
実家から、結婚を機に夫の住んでいる所に転出しただけ
以前は高校の寮ですから、卒業後は転出
東大阪市では仕事と住居を一緒にしていたが、いずれ住居を奈良にする予定であったため
立ち退きになる
介護施設から自宅に戻った
老人ホームに居住(介護要)脳梗塞
不動産屋営業マンの賃貸条件が違っていた
介護が必要な状態で1人暮らしを続けていけないため

3.5 通勤の状況について

問 5 世帯で主となり生計を立てている方の通勤の状況についておたずねします。

問 5-1 現在の勤務地と自宅からの所要時間について記入してください。

1) 現在の勤務地及び所要時間

現在の勤務地は、「大阪市」（区名未記入も含む）が 25.6%と最も多く、次いで「東大阪市」が 6.5%となっている。

勤務地までの所要時間は、「10分～30分未満」が 30.6%で最も多く、次いで「30分～1時間未満」が 30.1%となっている。

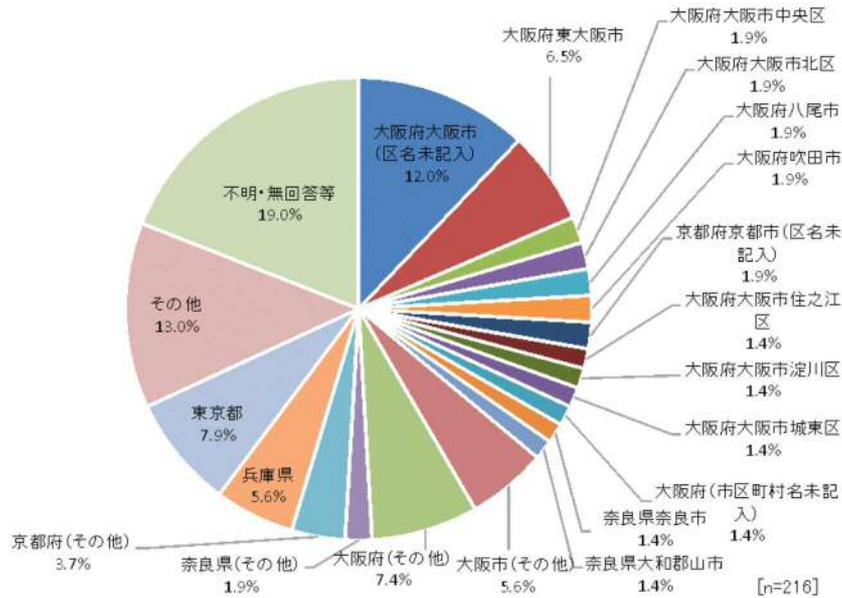


図 現在の勤務地

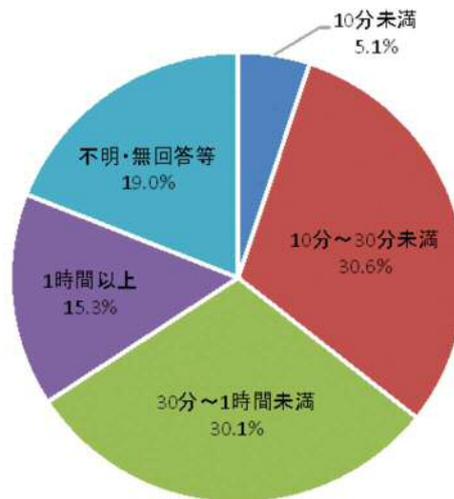
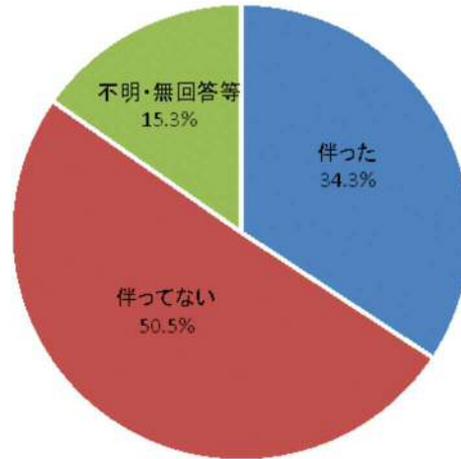


図 勤務地までの所要時間

問 5-2 転出にあたり、勤務地の変更（転職、転勤など）を伴いましたか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

2) 勤務地の変更等の有無

勤務地の変更を「伴っていない」が50.5%と5割以上を占めており、「伴った」が34.3%となっている。



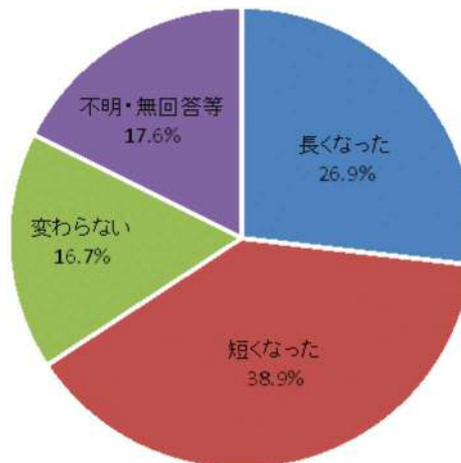
[n=216]

図 勤務地の変更等の有無

問 5-3 転出に伴う通勤時間の変化について、あてはまる番号に1つ○をつけてください。

3) 通勤時間の変化

通勤時間の変化について、「短くなった」が38.9%と最も多く3割以上を占めており、「長くなった」が26.9%、「変わらない」が16.7%でそれに続いている。



[n=216]

図 通勤時間の変化

3.6 居住地の選択について

問 6 転出先の居住地を決めた理由は何でしたか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

1) 転出先の居住地の決定理由

転出先の居住地を決めた理由については、「通勤が便利である」が37.0%と最も多く、「日常の買い物が便利である」が20.4%、「特になし」が13.4%でそれに続いている。

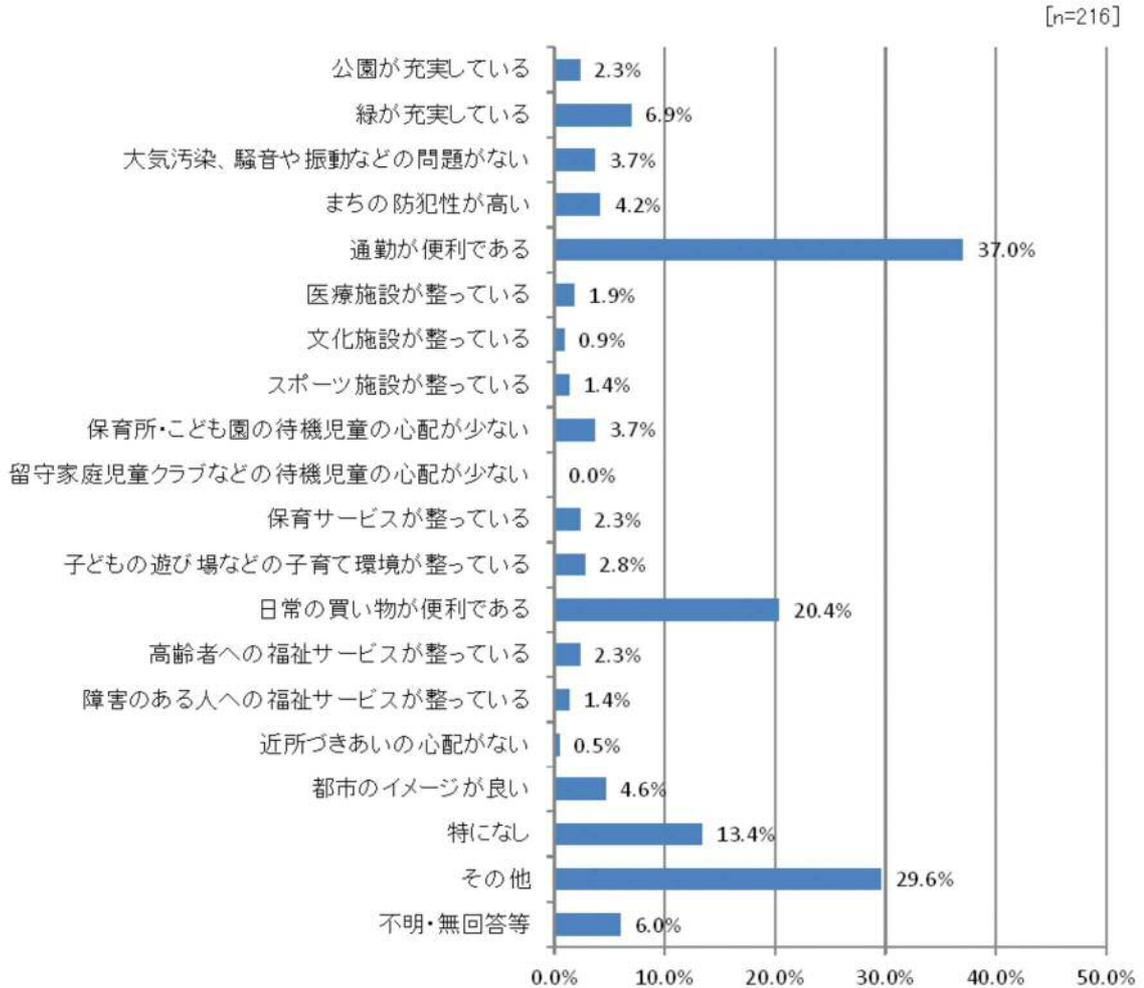


図 転出先の居住地の決定理由

【その他の回答】

社宅・寮(8件)
実家がある・近い(7件)
家族や身内などが住んでいる(7件)
交通が便利(3件)
家賃が安い(3件)
日当たりが良い(3件)
親と同居(2件)
職場の近く(2件)
広い物件(2件)
ペットが飼える物件(2件)
マンションのキレイさ
住宅があたった
大阪市内にマンションを持っていたから
夫が住んでいた土地だった
夫の持家
親族が大家
元の住いに戻る
息子の通学の利便性
結婚したから
子育ての為
介護の必要性
緊急入院をするため
いずれは住居を奈良にする予定であった。
その福祉法人のホームがたまたまそこにあり、同じ沿線にあったから
商売の顧客のことを考えて
趣味の乗馬クラブが近くて便利
再開発区画である
全ての機能が整っている
難波(天王寺、梅田)が近いので遊びに行きやすい
みなさんが親切だから
DVシェルターからのアドバイス?
包活・CM、ケースワーカーと相談して
母から離れたかったから
決まりました(※注釈:内容不明)

【クロス集計 居住地を決めた理由×転出後の住まい】

大阪府（大阪市以外）や奈良県への転出者については、通勤利便性の割合が比較的低いが、大阪市への転出者については比較的高い傾向にある。

奈良県への転出者については緑の充実、子育てサービスや環境、都市のイメージの良さの割合が比較的高い傾向にある。

居住地を決めた理由 × 転出後の住まい		回答者数																				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19		
転出後の住まい	全体	216	5	15	8	9	80	4	2	3	8	0	5	6	44	5	3	1	10	29	64	13
		-	2.3%	6.9%	3.7%	4.2%	37.0%	1.9%	0.9%	1.4%	3.7%	0.0%	2.3%	2.8%	20.4%	2.3%	1.4%	0.5%	4.6%	13.4%	29.6%	6.0%
	大阪府大阪市	62	2	0	1	0	31	1	0	2	1	0	0	1	13	1	2	1	4	9	18	5
		-	3.2%	0.0%	1.6%	0.0%	50.0%	1.6%	0.0%	3.2%	1.6%	0.0%	0.0%	1.6%	21.0%	1.6%	3.2%	1.6%	6.5%	14.5%	29.0%	8.1%
	大阪府（大阪市以外）	52	1	4	2	5	13	0	1	0	3	0	1	1	8	0	1	0	2	9	17	3
		-	1.9%	7.7%	3.8%	9.6%	25.0%	0.0%	1.9%	0.0%	5.8%	0.0%	1.9%	1.9%	15.4%	0.0%	1.9%	0.0%	3.8%	17.3%	32.7%	5.8%
	奈良県	19	0	4	1	1	6	0	0	0	3	0	2	2	0	0	0	0	3	1	8	1
		-	0.0%	21.1%	5.3%	5.3%	31.6%	0.0%	0.0%	0.0%	15.8%	0.0%	10.5%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.8%	5.3%	42.1%	5.3%
	東京都	18	0	1	0	1	8	1	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0	1	0	6	1
		-	0.0%	5.6%	0.0%	5.6%	44.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.8%	11.1%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	33.3%	5.6%
	兵庫県	15	0	1	1	0	4	0	0	1	1	0	0	1	3	0	0	0	0	3	4	1
		-	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%	26.7%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	26.7%	6.7%
	京都府	11	0	2	2	0	6	0	1	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	1	1	0
		-	0.0%	18.2%	18.2%	0.0%	54.5%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	36.4%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%
	その他	38	1	3	1	2	12	2	0	0	0	0	2	1	11	0	0	0	0	6	10	2
		-	2.6%	7.9%	2.6%	5.3%	31.6%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	2.6%	28.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.8%	26.3%	5.3%
不明・無回答等	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
	-	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

数値 全体より5.0%以上
数値 全体より-5.0%以下

【クロス集計 居住地を決めた理由×転出の主な要因となった方(年齢)】

転出の主な要因となった方の年齢別にみると、20～40 歳代の働く世代は通勤利便性や買い物利便性を理由に転出した方の割合が比較的高い。

居住地を決めた理由 ×転出の主な要因となった方	回答者数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	不明・無回答等
		公園が充実している	緑が充実している	大気汚染、騒音や振動などの問題がない	まちの防犯性が高い	通勤が便利である	医療施設が整っている	文化施設が整っている	スポーツ施設が整っている	保育所・こども園の特機児童の心配が少ない	留守家庭児童クラブなどの特機児童の心配が少ない	保育サービスが整っている	子どもの遊び場などの子育て環境が整っている	日常の買い物物が便利である	高齢者への福祉サービスが整っている	障害のある人への福祉サービスが整っている	近所づきあいの心配がない	都市のイメージが良い	特になし	その他	
全体	216	5	15	8	9	80	4	2	3	8	0	5	6	44	5	3	1	10	29	64	13
	-	2.3%	6.9%	3.7%	4.2%	37.0%	1.9%	0.9%	1.4%	3.7%	0.0%	2.3%	2.8%	20.4%	2.3%	1.4%	0.5%	4.6%	13.4%	29.6%	6.0%
0～19歳	8	0	2	1	1	0	0	0	0	1	0	1	2	3	0	0	0	1	0	2	0
	-	0.0%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%
20～29歳	47	2	3	2	2	20	0	0	1	1	0	3	0	14	0	0	0	1	6	14	2
	-	4.3%	6.4%	4.3%	4.3%	42.6%	0.0%	0.0%	2.1%	2.1%	0.0%	6.4%	0.0%	29.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	12.8%	29.8%	4.3%
30～39歳	38	0	3	1	3	21	1	0	1	1	0	0	1	10	0	0	0	3	3	9	2
	-	0.0%	7.9%	2.6%	7.9%	55.3%	2.6%	0.0%	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%	2.6%	26.3%	0.0%	0.0%	0.0%	7.9%	7.9%	23.7%	5.3%
40～49歳	26	0	1	1	1	11	0	2	0	1	0	1	0	5	0	0	0	1	5	7	1
	-	0.0%	3.8%	3.8%	3.8%	42.3%	0.0%	7.7%	0.0%	3.8%	0.0%	3.8%	0.0%	19.2%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	19.2%	26.9%	3.8%
50～59歳	9	1	0	1	1	5	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	1	0
	-	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%
60歳以上	13	0	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	3	5	1
	-	0.0%	7.7%	7.7%	0.0%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	15.4%	0.0%	7.7%	0.0%	23.1%	38.5%	7.7%
不明・無回答等	75	2	5	1	1	21	2	0	1	4	0	0	3	9	3	2	0	4	11	26	7
	-	2.7%	6.7%	1.3%	1.3%	28.0%	2.7%	0.0%	1.3%	5.3%	0.0%	0.0%	4.0%	12.0%	4.0%	2.7%	0.0%	5.3%	14.7%	34.7%	9.3%

数値 全体より5.0%以上
数値 全体より-5.0%以下

3.7 転出前後の住宅の所有関係などについて

問 7 転出前と転出後の住宅の所有関係について、下の一覧表からあてはまる番号を1つ選び、下記の回答欄にそれぞれ記入してください。

1) 転出前後の住宅の所有関係

転出前の住宅の所有関係については、「民間の借家（アパート・賃貸マンションなど）」が45.8%と最も多く、「持家（一戸建）」が20.4%、「持家（分譲マンション）」が8.8%でそれに続いている。

転出後については、「民間の借家（アパート・賃貸マンションなど）」はやや増加し47.7%となっており、「持家（分譲マンション）」は増加して13.0%、「持家（一戸建）」は減少して12.5%となっている。

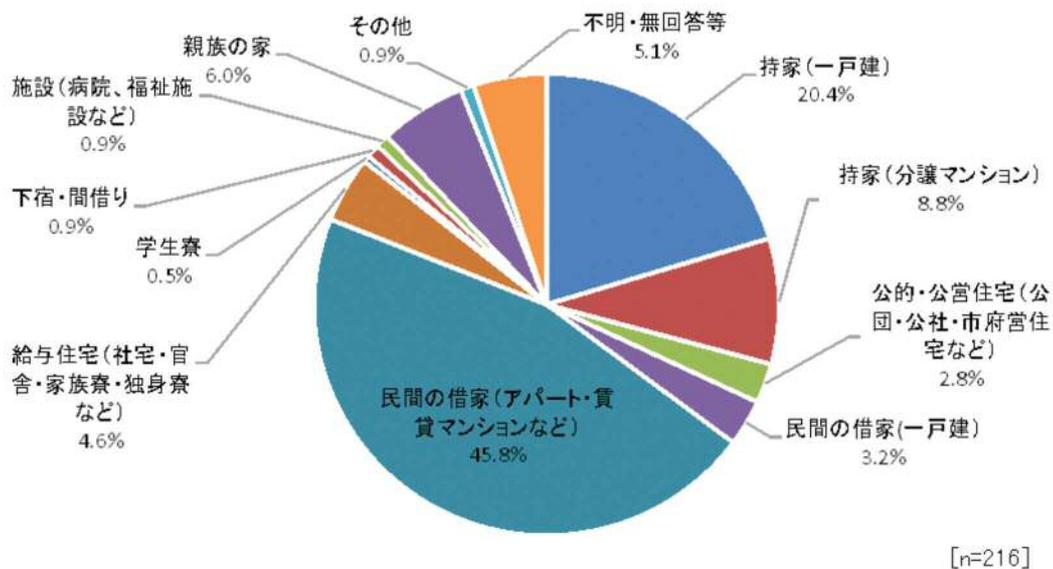


図 転出前の住宅の所有関係

【その他の回答】

病院
本人の親の持家

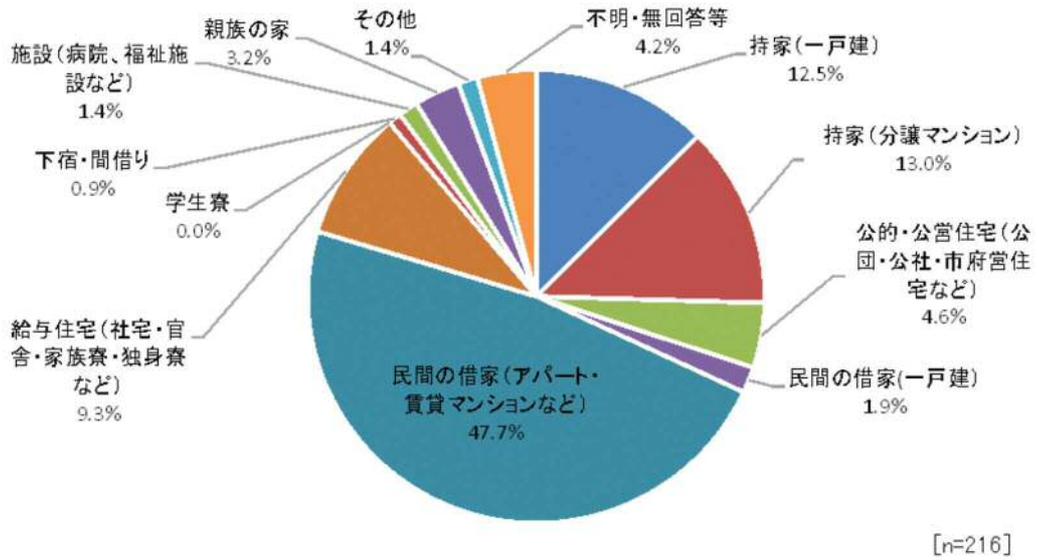


図 転出後の住宅の所有関係

【その他の回答】

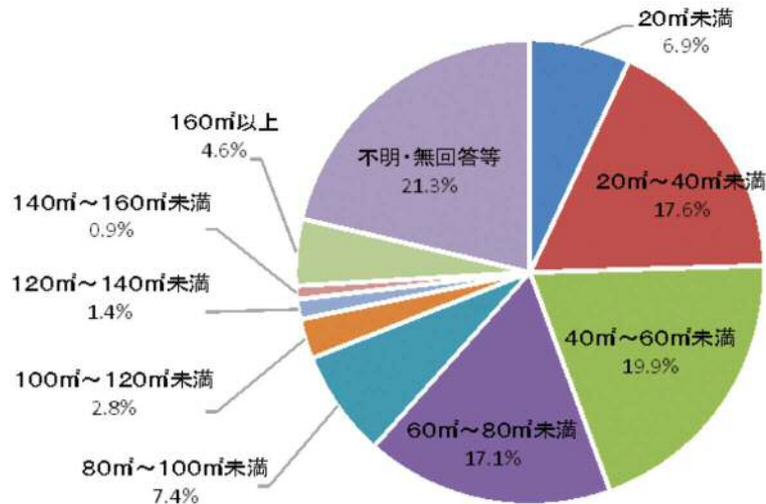
グループホーム
福祉施設

問 8 転出前と転出後の住宅の床面積について、下の一覧表からあてはまる番号を1つ選び、下記の回答欄にそれぞれ記入してください。

2) 転出前後の住宅の床面積

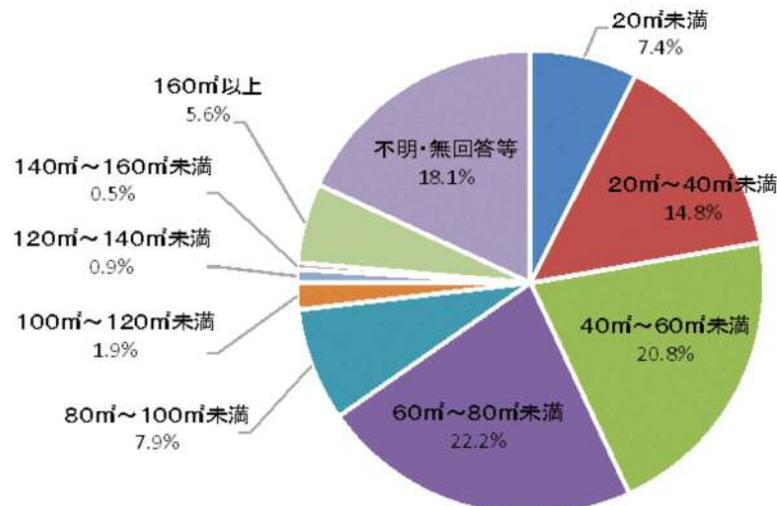
転出前の住宅の床面積については、「40㎡～60㎡未満」が19.9%と最も多く、「20㎡～40㎡未満」が17.6%、「60㎡～80㎡未満」が17.1%でそれに続いている。

転出後については、「60㎡～80㎡未満」が増加し22.2%と最も多くなっており、「40㎡～60㎡未満」が増加して20.8%、「20㎡～40㎡未満」が減少して14.8%となっている。



[n=216]

図 転出前の住宅の床面積



[n=216]

図 転出後の住宅の床面積

3.8 東大阪市での居住に対する評価について

問 9 東大阪での居住に対する評価についておたずねします。

問 9-1 転出後の世帯の中で最も長く東大阪市に住んでいた方は、何年間居住されていましたか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1) 東大阪市での居住年数

東大阪市での居住年数については、「20年以上」が42.1%と最も多く、「10～20年未満」が15.7%、「1～3年未満」「5～10年未満」が12.5%でそれに続いている。

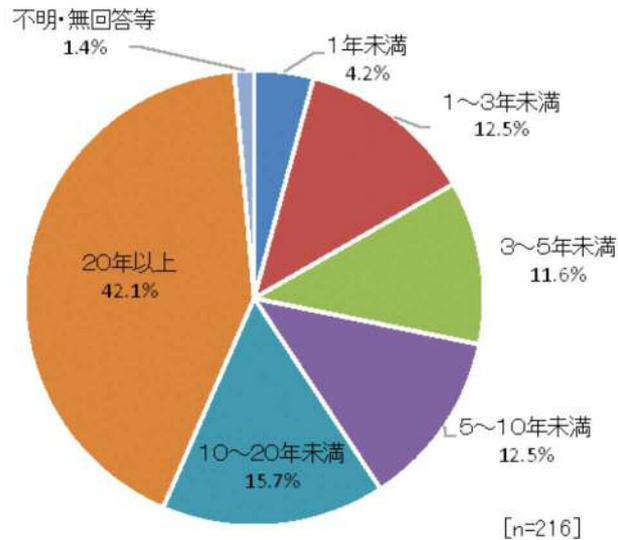


図 東大阪市での居住年数

問 9-2 あなたは東大阪市に住んでいてよかったと思いますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

2) 東大阪市での居住に対する評価

東大阪市に住んでいてよかったと思うかどうかについては、「まあそう思う」が40.7%と最も多く、「そう思う」が36.1%でそれに続いており、これらを合わせると、東大阪市での居住に対して肯定的に評価している方の割合が76.8%と8割近くを占めている。

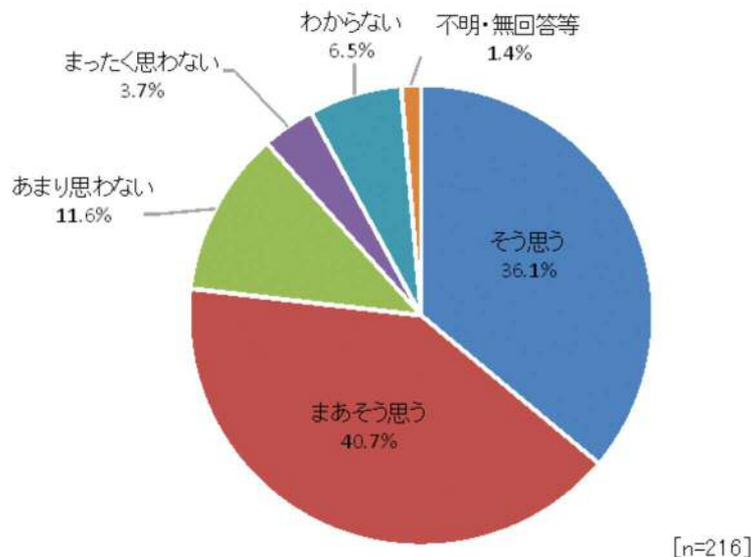


図 東大阪市での居住に対する評価

【クロス集計 東大阪市に住んでよかったか×転出後の住まい】

転出後の住まい別にみると、大阪市や奈良県への転出者は、そう思うやまあそう思うの割合が比較的低く、あまり思わないやまったく思わないの割合が比較的高い。一方で、大阪府（大阪市以外）においては、そう思うやまあそう思うの割合が比較的高く、あまり思わないやまったく思わないの割合が比較的低い。大阪市（利便性の高い都心部）や奈良県（自然豊かで子育て環境や教育環境が充実）等特色のある市区町村へ転出した方の、東大阪市での居住に対する満足度はやや低く、大阪府（大阪市以外）へ転出した方の東大阪市での居住に対する満足度はやや高いと想定される。

東大阪市に住んでよかったか ×転出後の住まい		回答者数	1	2	3	4	5	不明・無回答等
			そう思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない	わからない	
転出後の 住まい	全体	216	78	88	25	8	14	3
		-	36.1%	40.7%	11.6%	3.7%	6.5%	1.4%
	大阪府大阪市	62	19	25	10	3	5	0
		-	30.6%	40.3%	16.1%	4.8%	8.1%	0.0%
	大阪府 (大阪市以外)	52	22	20	4	2	3	1
		-	42.3%	38.5%	7.7%	3.8%	5.8%	1.9%
	奈良県	19	5	8	4	2	0	0
		-	26.3%	42.1%	21.1%	10.5%	0.0%	0.0%
	東京都	18	9	5	3	0	1	0
		-	50.0%	27.8%	16.7%	0.0%	5.6%	0.0%
	兵庫県	15	7	5	1	0	2	0
		-	46.7%	33.3%	6.7%	0.0%	13.3%	0.0%
	京都府	11	3	8	0	0	0	0
	-	27.3%	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他	38	13	16	3	1	3	2	
	-	34.2%	42.1%	7.9%	2.6%	7.9%	5.3%	
不明・無回答等	1	0	1	0	0	0	0	
	-	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

数値 全体より5.0%以上
数値 全体より-5.0%以下

【クロス集計 東大阪市に住んでよかったか×転出後の同居家族(中学生以下の子どもの有無と年齢)】

中学生以下の子どもの有無と年齢別にみると、小・中学生の子どもがいる世帯は、そう思うやまあそう思うの割合が高く、あまり思わないやまったく思わないの割合が低い傾向にある。

東大阪市に住んでいてよかったか × 転出後の同居家族		回答件数	1	2	3	4	5	不明・無回答等
			そう思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない	わからない	
中学生以下の子ども の有無と年齢	有効回答数全体	219	80	89	25	8	14	3
		-	36.5%	40.6%	11.4%	3.7%	6.4%	1.4%
	就学前(0~6歳以下)の子ども が一人以上いる世帯	33	12	12	3	1	4	1
		-	36.4%	36.4%	9.1%	3.0%	12.1%	3.0%
	小・中学生(7~15歳以下)の 子どもが一人以上いる世帯	9	4	5	0	0	0	0
	-	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
中学生以下(0~15歳以下)の子 どもがいない世帯	177	64	72	22	7	10	2	
	-	36.2%	40.7%	12.4%	4.0%	5.6%	1.1%	

数値	全体より5.0%以上
数値	全体より-5.0%以下

【クロス集計 東大阪市に住んでよかったか×転出後の同居家族(中学生以下の子どもが一人以上いる世帯の両親の就業状況)】
 中学生以下の子どもがいる世帯の両親の就業状況別にみると、特筆すべき傾向はみられない。

東大阪市に住んでよかったか ×転出後の同居家族		回答件数	1	2	3	4	5	不明・無回答等
			そう思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない	わからない	
中学生 世帯 以下の 子ども が一人 以上 いる	有効回答者数 全体 (非該当除く)	39	14	16	3	1	4	1
		-	35.9%	41.0%	7.7%	2.6%	10.3%	2.6%
	共働き	22	7	10	2	1	1	1
		-	31.8%	45.5%	9.1%	4.5%	4.5%	4.5%
	一方のみ就業	12	6	3	1	0	2	0
		-	50.0%	25.0%	8.3%	0.0%	16.7%	0.0%
	その他	5	1	3	0	0	1	0
		-	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%

数値	全体より5.0%以上
数値	全体より-5.0%以下

【クロス集計 東大阪市に住んでよかったか×転出の主な要因となった方(年齢)】

転出の主な要因となった方の年齢別にみると、特筆すべき傾向はみられない。

東大阪市に住んでよかったか ×転出の主な要因となった方		回答者数	1	2	3	4	5	不明・無回答等
			そう思う	まあそう思う	あまり思わない	まったく思わない	わからない	
年齢	全体	216	78	88	25	8	14	3
		-	36.1%	40.7%	11.6%	3.7%	6.5%	1.4%
	0～19歳	8	2	4	1	0	1	0
		-	25.0%	50.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%
	20～29歳	47	18	16	8	0	4	1
		-	38.3%	34.0%	17.0%	0.0%	8.5%	2.1%
	30～39歳	38	15	17	1	4	1	0
		-	39.5%	44.7%	2.6%	10.5%	2.6%	0.0%
	40～49歳	26	9	11	3	2	1	0
		-	34.6%	42.3%	11.5%	7.7%	3.8%	0.0%
50～59歳	9	4	3	1	0	1	0	
	-	44.4%	33.3%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	
60歳以上	13	4	4	0	0	5	0	
	-	30.8%	30.8%	0.0%	0.0%	38.5%	0.0%	
不明・無回答等	75	26	33	11	2	1	2	
	-	34.7%	44.0%	14.7%	2.7%	1.3%	2.7%	

3.9 東大阪市への帰還意向について

問 10 東大阪市への帰還意向についておたずねします。

問 10-1 機会があれば東大阪市に戻りたいと思いますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1) 東大阪市への帰還意向

東大阪市への帰還意向に関しては、「どちらかといえば戻りたい」が42.1%と最も多く、「どちらかといえば戻りたくない」が26.4%、「戻りたくない」が17.6%、「ぜひ戻りたい」が10.2%でこれに続いている。

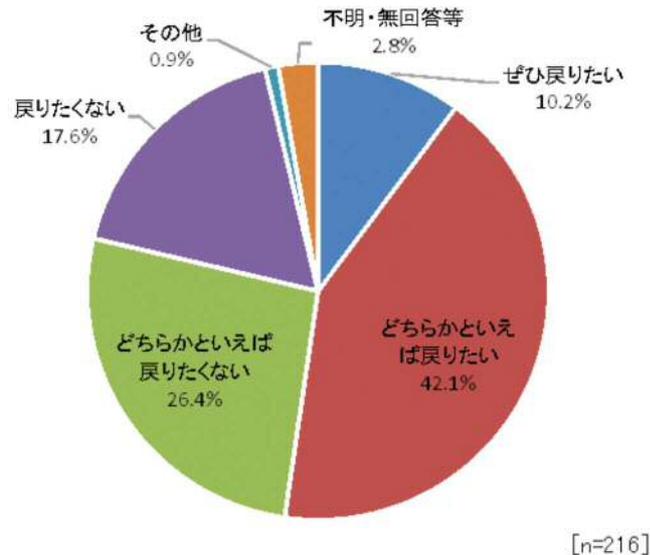


図 東大阪市への帰還意向

【その他の回答】

住居と仕事場は別で思っていました

何ともいえない。きれいではないが公共交通機関が不便

問 10-2 問 10-1 で「ぜひ戻りたい」又は「どちらかといえば戻りたい」に○をつけた方におたずねします。
その理由を次の項目から2つ選び、該当する番号を優先順位の高いものから回答欄に記入してください。

1) 東大阪市への帰還意向の理由

東大阪市への帰還意向の理由のうち、優先順位が1位のものとしては、「生まれ育ったところだから」が29.2%と最も多く、「買い物など日常生活が便利だから」が19.5%、「親など親族の居住地が近いから」が17.7%でそれに続いている。なお、優先順位1位と2位の合計としては、「生まれ育ったところだから」が41.6%と最も多く、「買い物など日常生活が便利だから」が35.4%、「親など親族の居住地が近いから」が31.0%でそれに続いている。

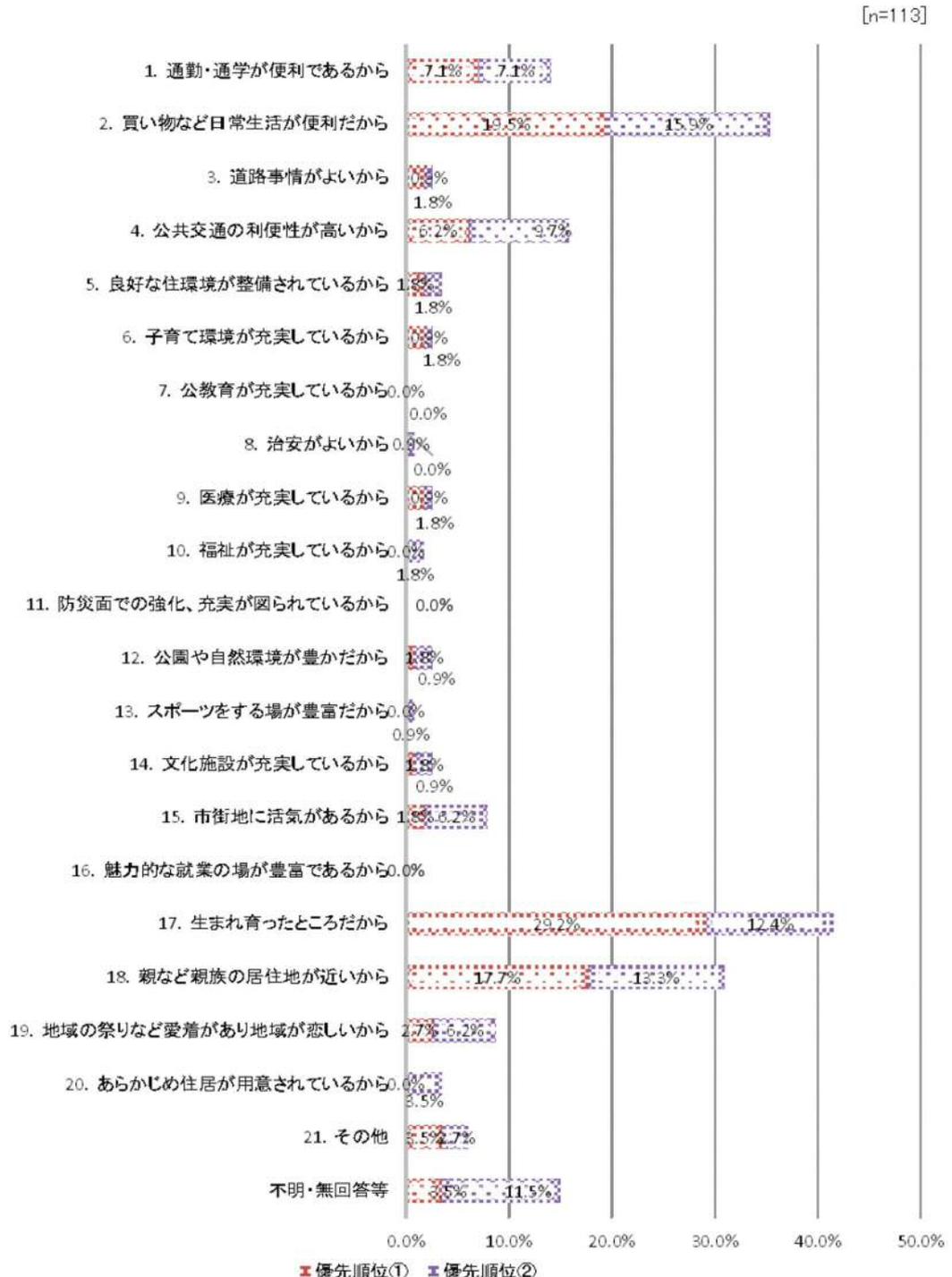


図 東大阪市への帰還意向の理由

【その他の回答：優先順位①】

単身赴任が解消されれば戻るため
水道料金が八尾市より安かったように思えるから
個人(的)に好きな町だから

【その他の回答：優先順位②】

ママ友達が多いから
母子手帳がかわいい

【その他の回答：対象外】

介護の必要性	※問 10-1 は 4.戻りたくない を選択
マンションの管理がよかった・清掃	※3つ以上記入

【クロス集計 東大阪市に戻りたいか×転出後の住まい】

転出後の住まい別にみると、大阪市や奈良県においては、ぜひ住み続けたいやできれば住み続けたいの合計が全体よりもやや少なく、どちらかといえば戻りたくないや戻りたくないの合計が全体よりも多い傾向にある。

東大阪市に戻りたいか × 転出後の住まい		回答者数	1	2	3	4	その他	不明・無回答等
			ぜひ戻りたい	どちらかといえば戻りたい	どちらかといえば戻りたくない	戻りたくない		
転出後の住まい	全体	216	22	91	57	38	2	6
		-	10.2%	42.1%	26.4%	17.6%	0.9%	2.8%
	大阪府大阪市	62	3	19	20	17	1	2
		-	4.8%	30.6%	32.3%	27.4%	1.6%	3.2%
	大阪府(大阪市以外)	52	3	24	14	8	0	3
		-	5.8%	46.2%	26.9%	15.4%	0.0%	5.8%
	奈良県	19	1	5	8	4	1	0
		-	5.3%	26.3%	42.1%	21.1%	5.3%	0.0%
	東京都	18	4	6	5	3	0	0
		-	22.2%	33.3%	27.8%	16.7%	0.0%	0.0%
	兵庫県	15	4	6	4	1	0	0
	-	26.7%	40.0%	26.7%	6.7%	0.0%	0.0%	
京都府	11	0	9	2	0	0	0	
	-	0.0%	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他	38	7	21	4	5	0	1	
	-	18.4%	55.3%	10.5%	13.2%	0.0%	2.6%	
不明・無回答等	1	0	1	0	0	0	0	
	-	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

数値	全体より5.0%以上
数値	全体より-5.0%以下

【クロス集計 東大阪市に戻りたいか×転出後の世帯構成】

転出後の世帯構成別にみると、ひとり世帯においては、どちらかといえば戻りたいの割合が比較的高く、戻りたくないの割合が比較的低い。

東大阪市に戻りたいか × 転出後の世帯構成		回答者数	1	2	3	4	その他	不明・無回答等
			ぜひ戻りたい	どちらかといえば戻りたい	どちらかといえば戻りたくない	戻りたくない		
転出後の世帯構成	全体	216	22	91	57	38	2	6
		-	10.2%	42.1%	26.4%	17.6%	0.9%	2.8%
	ひとり世帯	65	6	34	17	7	0	1
		-	9.2%	52.3%	26.2%	10.8%	0.0%	1.5%
	夫婦のみ	70	7	28	18	15	0	2
		-	10.0%	40.0%	25.7%	21.4%	0.0%	2.9%
	二世帯同居 (親と子ども)	64	8	26	18	12	0	0
		-	12.5%	40.6%	28.1%	18.8%	0.0%	0.0%
	三世帯同居 (祖父母と親と子ども)	6	0	2	1	2	1	0
		-	0.0%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%
その他	8	1	0	2	2	1	2	
	-	12.5%	0.0%	25.0%	25.0%	12.5%	25.0%	
不明・無回答等	3	0	1	1	0	0	1	
	-	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	

数値 全体より5.0%以上
数値 全体より-5.0%以下

【クロス集計 東大阪市に戻りたいか×転出後の同居家族(中学生以下の子どもの有無と年齢)】

中学生以下の子どもの有無と年齢別にみると、就学前の子どもがいる世帯においては、どちらかといえば戻りたくないの割合が比較的高く、戻りたくないとの合計が半数を超えている。

東大阪市に戻りたいか ×転出後の同居家族		回答件数	1	2	3	4	その他	不明・無回答等
			ぜひ戻りたい	どちらかといえば戻りたい	どちらかといえば戻りたくない	戻りたくない		
中学生以下の子どもの有無と年齢	有効回答数全体	219	23	92	57	39	2	6
		-	10.5%	42.0%	26.0%	17.8%	0.9%	2.7%
	就学前(0~6歳以下)の子どもが一人以上いる世帯	33	3	13	13	4	0	0
		-	9.1%	39.4%	39.4%	12.1%	0.0%	0.0%
	小・中学生(7~15歳以下)の子どもが一人以上いる世帯	9	3	2	2	2	0	0
	-	33.3%	22.2%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	
中学生以下(0~15歳以下)の子どもがいない世帯	177	17	77	42	33	2	6	
	-	9.6%	43.5%	23.7%	18.6%	1.1%	3.4%	

数値 全体より5.0%以上
数値 全体より-5.0%以下

【クロス集計 東大阪市に戻りたいか×転出後の同居家族(中学生以下の子どもが一人以上いる世帯の両親の就業状況)】

中学生以下の子どもがいる世帯の両親の就業状況別にみると、共働き世帯では、ぜひ戻りたいやどちらかといえば戻りたいの割合が低く、一方のみが就業している世帯では、ぜひ住み続けたいやできれば住み続けたいの割合が高い。

東大阪市に戻りたいか ×転出後の同居家族		回答件数	1	2	3	4	その他	不明・無回答等
			ぜひ戻りたい	どちらかといえば戻りたい	どちらかといえば戻りたくない	戻りたくない		
中学生以下の子どもが一人以上いる世帯の両親の就業状況	有効回答者数全体(非該当除く)	39	5	14	15	5	0	0
		-	12.8%	35.9%	38.5%	12.8%	0.0%	0.0%
	共働き	22	1	6	12	3	0	0
		-	4.5%	27.3%	54.5%	13.6%	0.0%	0.0%
	一方のみ就業	12	3	7	1	1	0	0
	-	25.0%	58.3%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	
その他	5	1	1	2	1	0	0	
	-	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	

数値 全体より5.0%以上
数値 全体より-5.0%以下

3.10 自由意見

東大阪市へのご意見などをご自由にお書きください。

自由意見について、現行の総合計画の体系別に整理を行った。住みやすいなどの肯定的な意見が多く、続いて都市交通環境に対する意見が多くみられた。

表 自由意見の概要
意 見

意 見	件 数
■自由意見総数	64
■市民が主体となったまちづくり	2
○市民自治のまちづくり	0
○人権尊重と平和のまちづくり ・同和問題の解決	1
○都市行政の総合的な推進 ・税金が高い	1
■市民文化を育むまちづくり	9
○市民文化の創造 ・図書館、歴史資料館が近い ・映画館がほしい	2
○交流文化の創造	0
○生涯学習環境の充実	0
○学校教育の充実 ・教育水準が低い 等	3
○青少年が健やかに育つまちづくり	0
○スポーツ・レクリエーションの推進 ・スポーツ施設の利便性向上 等	4
■健康と市民福祉のまちづくり	10
○健康で元気な市民づくり	0
○地域福祉のまちづくり	0
○長寿社会を支える福祉の充実	0
○障害者(児)福祉の充実	0
○健やかに子どもを育む福祉の充実 ・子育て支援の強化 ・保育所が少ない 等	7
○生活自立の援助 ・相談への親身な対応、対策の適用	3
■活力ある産業社会を切り拓くまちづくり	10
○中小企業活性化の推進 ・中小企業の魅力アピール	1
○都市型産業の振興 ・買い物が便利だった ・商店をふやしてほしい 等	9
○産業活性化のための環境の整備	0
○消費生活の充実	0
■安全で住みよいまちづくり	34

意見		件数
○魅力ある都市環境の形成 ・市役所等の公的施設の立地が不便 ・景観が良くない 等		10
○総合的な都市交通環境の充実 ・道路整備(拡幅、歩車分離、路面等) ・公共交通が不便 等		15
○災害に強いまちづくり ・防犯対策の強化 ・治安が悪いというイメージ 等		7
○暮らしを支える環境づくり ・環境汚染(大気、水質、騒音等)		2
■その他		36
○肯定的意見 ・住みやすい ・愛着がある ・ラグビーW杯効果に期待 等		18
○否定的意見		0
○市への要望 ・職員の対応が悪い ・アンケートへの苦言 等		10
○その他・特になし		8

※一つの回答の中に複数の分野に関する意見が含まれていることがあるため、意見の総数と各分類の件数の合計は一致しない。

4 アンケート調査票

4.1 転入実態調査票

[転入者用]

「東大阪市転入実態調査」へのご協力をお願い

日頃から、市行政にご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、全国的に今後本格化することが予測されている人口減少社会に対し、本市でも住み良さの観点からまちづくりを進めていくことが不可欠です。

そのため、実際に東大阪市に転入された方、東大阪市から転出された方を対象に転入転出の理由などを把握し、今後のまちづくりの基礎資料とさせていただきたく、アンケート調査を実施しております。

このアンケートは、平成29年4月から平成30年3月までの間に、東大阪市に転入された方、東大阪市から転出された方の中から、それぞれ1,000人ずつ合計2,000人の方を無作為に選ばせていただき、お送りしています。

調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成30年(2018年)8月

東大阪市長 野田 義和

アンケートの記入にあたって

- 1 このアンケートへのご記入は、ご本人（あて名の方）にお願いします。
- 2 質問ごとにあてはまる番号または選択肢に○（まる）をつけてください。
なお、記述を要する質問については、あなたの考えを枠内に記入してください。
- 3 回答いただいた内容は個人が特定できないようにすべて統計的に処理いたします。
- 4 ご記入いただいたアンケートは、同封の返信用封筒に封入のうえ、無記名のまま 平成30年9月10日（月） までに郵便ポストに投函してください。
（切手は不要）
- 5 ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

東大阪市役所 経営企画部 企画室
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号
TEL : 06-4309-3101 FAX : 06-4309-3826

- この用紙の裏面に、「ひがしおおさか未来創造カフェのご案内」を記載しております。

平成30年10月27日（土）に、“10年後の東大阪の未来を考えよう！”をテーマにワークショップの開催を予定しておりますので、ご覧ください。

- 参加を希望される方は、同封の「ワークショップ参加申込書」に必要事項を記入し、アンケート回答用紙と一緒に、返信用封筒に入れてご返送ください。（FAX、E-mailでの申込みも受け付けています。）

[転入者用]

アンケート調査票

■転入前後のお住まいについて

問1 転入前後のお住まいについておたずねします。

問1-1 以前にお住まいの都道府県、市区町村、町丁目を教えてください。

前住所	都道 府県	市区 町村	町 丁目
-----	----------	----------	---------

問1-2 今お住まいの町丁目を教えてください。

現住所	大阪府東大阪市	町 丁目
-----	---------	---------

■転入前後の世帯構成について

問2 転入前後の世帯の構成について、あてはまる番号に1つ○をつけてください。

問2-1 転入前の世帯構成を教えてください。

- | | | |
|---------------------|-----------|-----------------|
| 1. ひとり世帯 | 2. 夫婦のみ | 3. 二世帯同居(親と子ども) |
| 4. 三世帯同居(祖父母と親と子ども) | 5. その他() | |

問2-2 転入後の世帯構成を教えてください。

- | | | |
|---------------------|-----------|-----------------|
| 1. ひとり世帯 | 2. 夫婦のみ | 3. 二世帯同居(親と子ども) |
| 4. 三世帯同居(祖父母と親と子ども) | 5. その他() | |

■転入後の同居家族について

問3 世帯構成についてご記入ください。

また、転入の最も大きな要因となった方はどなたですか。あてはまる方の番号に1つ○をつけてください。

番号	あなたとの続き柄	年齢(転入後)	性別	職業の有無 (パートタイマー・ アルバイトを含む)
1	あなた	歳	男・女	有・無
2		歳	男・女	有・無
3		歳	男・女	有・無
4		歳	男・女	有・無
5		歳	男・女	有・無
6		歳	男・女	有・無
7		歳	男・女	有・無
8		歳	男・女	有・無
9		歳	男・女	有・無
10		歳	男・女	有・無

続き柄の記載例：父、母、夫、妻、兄、弟、姉、妹、子、夫の父、妻の母、子の子、姉の子、同居人 等

■転入理由について

問4 転入理由についておたずねします。

問4-1 問3で○をされた転入の最も大きな要因となった方についておたずねします。転入の一番大きなきっかけとなったできごとは何でしたか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

職業上の理由	1. 就職 2. 転職 3. 転勤 4. 家業継承 5. 創業 6. 定年退職 7. 通勤の利便性を重視
学業上の理由	8. 入学・進学 9. 教育支援制度(就学援助や奨学金など)の充実を重視 10. 学校教育(公立)の水準を重視 11. 学校教育(公立)の環境を重視 12. 通学環境(交通安全や交通利便性など)を重視
結婚・離婚などの理由	13. 結婚 14. 離婚 15. 別居
家族などの理由	16. 出産 17. 親と同居 18. 親の近くに居住 19. 子と同居 20. 子の近くに居住 21. 家族や親族から独立
その他	22. 住宅(住宅の広さ、日当たりなど)に関する理由 <u>→こちらを選択された方は問4-2へお進みください</u> 23. その他()

問4-2 問4-1で「22. 住宅(住宅の広さ、日当たりなど)に関する理由」に○をつけた方におたずねします。転入前に住んでいた住宅に関して、転出を考えた理由は何でしたか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

1. 手狭になった 2. 従前の広さが必要なくなった 3. 古くなった 4. 間取りが悪かった 5. 日当たりが悪かった 6. バリアフリー対応の住宅に住む必要性が生じた 7. 家賃が高かった 8. 住宅ローンの返済の負担が重かった 9. 駅やバス停までの距離が遠かった 10. 駐車スペースがなかった 11. 住宅を購入しなかった 12. 移動先で住宅支援制度(※)があった 13. その他()

(※) 住宅支援制度…転入・転出などの移動に対する自治体からの補助制度
(住宅取得補助、リフォーム補助など)

■通勤の状況について

問5 世帯で主となり生計を立てている方の通勤の状況についておたずねします。

問5-1 現在の勤務地と自宅からの所要時間について記入してください。

都道 府県		市区 町村		所要 時間	分
----------	--	----------	--	----------	---

問5-2 転入にあたり、勤務地の変更（転職、転勤など）を伴いましたか。あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 伴った | 2. 伴っていない |
|--------|-----------|

問5-3 転入に伴う通勤時間の変化について、あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 長くなった | 2. 短くなった | 3. 変わらない |
|----------|----------|----------|

■居住地の選択について

問6 居住地選択についておたずねします。

問6-1 現在のご住所を決めるにあたり、他の地域の物件、土地も探しましたか。あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 探した | 2. 探していない |
|--------|-----------|

問6-2 問6-1で「1. 探した」に〇をつけた方におたずねします。探した地域はどこですか。あてはまる番号に〇をつけてください。（複数回答可）

- | | | | | | | |
|--------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 平野区 | 2. 生野区 | 3. 鶴見区 | 4. 城東区 | 5. 東成区 | 6. 八尾市 | 7. 大東市 |
| 8. 生駒市 | 9. 奈良市 | 10. その他（ | ） | | | |

問6-3 転入後の世帯の中で、以前に東大阪市に住んでいた方はおられますか。あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問6-4 問6-3で「1. いる」に〇をつけた方におたずねします。転入後の世帯の中で最も長く東大阪市に住んでいた方は何年間居住されていましたか。あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

- | | | | |
|-------------|-----------|-----------|------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～3年未満 | 3. 3～5年未満 | 4. 5～10年未満 |
| 5. 10～20年未満 | 6. 20年以上 | | |

問6-5 東大阪市に居住地を決めた理由は何でしたか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

- | | | |
|-----------------------------|---------------------------|-----------------------|
| 1. 公園が充実している | 2. 緑が充実している | 3. 大気汚染、騒音や振動などの問題がない |
| 4. まちの防犯性が高い | 5. 通勤が便利である | 6. 医療施設が整っている |
| 7. 文化施設が整っている | 8. スポーツ施設が整っている | |
| 9. 保育所・こども園の待機児童の心配が少ない | | |
| 10. 留守家庭児童クラブなどの待機児童の心配が少ない | | |
| 11. 保育サービスが整っている | 12. 子どもの遊び場などの子育て環境が整っている | |
| 13. 日常の買い物が便利である | 14. 高齢者への福祉サービスが整っている | |
| 15. 障害のある人への福祉サービスが整っている | 16. 近所づきあいの心配がない | |
| 17. モノづくりのまちの都市イメージが良い | 18. ラグビーのまちの都市イメージが良い | |
| 19. その他の要素で都市イメージが良い | 20. 以前東大阪市に住んでいたことがある | |
| 21. 特になし | 22. その他() | |

■転入前後の住宅の所有関係などについて

問7 転入前と転入後の住宅の所有関係について、下の一覧表からあてはまる番号を1つ選び、下記の回答欄にそれぞれ記入してください。

【一覧表】

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|---------------------------|
| 1. 持家(一戸建) | 2. 持家(分譲マンション) | 3. 公的・公営住宅(公団・公社・市府営住宅など) |
| 4. 民間の借家(一戸建) | 5. 民間の借家(アパート・賃貸マンションなど) | |
| 6. 給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮など) | 7. 学生寮 | 8. 下宿・間借り |
| 9. 施設(病院、福祉施設など) | 10. 親族の家 | 11. その他() |

転入前		転入後	
-----	--	-----	--

問8 転入前と転入後の住宅の床面積について、下の一覧表からあてはまる番号を1つ選び、下記の回答欄にそれぞれ記入してください。

【一覧表】

- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|--------------|
| 1. 20㎡未満 | 2. 20㎡～40㎡未満 | 3. 40㎡～60㎡未満 | 4. 60㎡～80㎡未満 |
| 5. 80㎡～100㎡未満 | 6. 100㎡～120㎡未満 | 7. 120㎡～140㎡未満 | |
| 8. 140㎡～160㎡未満 | 9. 160㎡以上 | | |

※居住室の床面積のほか、玄関・台所・トイレ・浴室・廊下・押入れなどを含めてください。ただし、営業用及び他の世帯が使っている部分は除いてください。

※床面積は、1坪（2畳）を3.3㎡に換算してください。

転入前		転入後	
-----	--	-----	--

■東大阪市での居住に対する評価について

問9 あなたは東大阪市に住んでよかったと思いますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

- | | | | |
|----------|-----------|------------|-------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. あまり思わない | 4. まったく思わない |
| 5. わからない | | | |

■東大阪市への定住意向について

問10-1 今後も東大阪市に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

- | | | |
|------------------|---------------|--------------------|
| 1. ぜひ住み続けたい | 2. できれば住み続けたい | 3. できれば他の市区町村に移りたい |
| 4. ぜひ他の市区町村に移りたい | 5. わからない | |

問10-2 問10-1で「3. できれば他の市区町村に移りたい」又は「4. ぜひ他の市区町村に移りたい」に○をつけた方におたずねします。その理由を次の項目から2つ選び、該当する番号を優先順位の高いものから回答欄に記入してください。

1. 通勤・通学などで交通の便利なところに住み替えたい
2. 買い物など日常生活に便利なところに住み替えたい
3. 小学校就学前の保育施設が充実しているところに住み替えたい
4. 小学校就学前の地域子育て支援が充実しているところに住み替えたい
5. 学校の教育環境が良いところに住み替えたい
6. 福祉施設が充実しているところに住み替えたい
7. 医療施設が充実しているところに住み替えたい
8. スポーツをする場が充実しているところに住み替えたい
9. 文化施設が充実しているところに住み替えたい
10. 防犯対策が整っているところに住み替えたい
11. 就業の場が豊富なところに住み替えたい
12. 大都市の都心に住み替えたい
13. 田舎に住み替えたい
14. 公園が充実しているところに住み替えたい
15. 緑が充実しているところに住み替えたい
16. 今住んでいる住宅より質の高いところに住み替えたい
17. 親と同居またはその近くに住み替えたい
18. 子どもと同居またはその近くに住み替えたい
19. 都市のイメージが良いところに住み替えたい
20. その他()

	優先順位①	優先順位②
回答欄		

■自由意見

東大阪市へのご意見などをご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

4.2 転出実態調査票

[転出者用]

「東大阪市転出実態調査」へのご協力をお願い

日頃から、市行政にご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、全国的に今後本格化することが予測されている人口減少社会に対し、本市でも住み良さの観点からまちづくりを進めていくことが不可欠です。

そのため、実際に東大阪市に転入された方、東大阪市から転出された方を対象に転入転出の理由などを把握し、今後のまちづくりの基礎資料とさせていただきたく、アンケート調査を実施しております。

このアンケートは、平成29年4月から平成30年3月までの間に、東大阪市に転入された方、東大阪市から転出された方の中から、それぞれ1,000人ずつ合計2,000人の方を無作為に選ばせていただき、お送りしています。

調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますよう、よろしくご協力申し上げます。

平成 30 年 (2018 年) 8 月

東大阪市長 野田 義和

アンケートの記入にあたって

- 1 このアンケートへのご記入は、ご本人（あて名の方）にお願いします。
- 2 質問ごとにあてはまる番号または選択肢に○（まる）をつけてください。
なお、記述を要する質問については、あなたの考えを枠内に記入してください。
- 3 回答いただいた内容は個人が特定できないようにすべて統計的に処理いたします。
- 4 ご記入いただいたアンケートは、同封の返信用封筒に封入のうえ、無記名のまま 平成 30 年 9 月 10 日（月）までに郵便ポストに投函してください。
（切手は不要）
- 5 ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

東大阪市役所 経営企画部 企画室
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号
TEL : 06-4309-3101 FAX : 06-4309-3826

■転出前後のお住まいについて

問1 転出前後のお住まいについておたずねします。

問1-1 以前にお住まいの町丁目を教えてください。

前住所	大阪府東大阪市	町 丁目
-----	---------	---------

問1-2 今お住まいの都道府県、市区町村、町丁目を教えてください。

現住所	都道 府県	市区 町村	町 丁目
-----	----------	----------	---------

■転出前後の世帯構成について

問2 転出前後の世帯の構成について、あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

問2-1 転出前の世帯構成を教えてください。

1. ひとり世帯	2. 夫婦のみ	3. 二世帯同居(親と子ども)
4. 三世帯同居(祖父母と親と子ども)	5. その他()	

問2-2 転出後の世帯構成を教えてください。

1. ひとり世帯	2. 夫婦のみ	3. 二世帯同居(親と子ども)
4. 三世帯同居(祖父母と親と子ども)	5. その他()	

■転出後の同居家族について

問3 世帯構成についてご記入ください。

また、転出の最も大きな要因となった方はどなたですか。あてはまる方の番号に1つ〇をつけてください。

番号	あなたとの続き柄	年齢 (転出後)	性別	職業の有無 (パートタイマー・ アルバイトを含む)
1	あなた	歳	男 ・ 女	有 ・ 無
2		歳	男 ・ 女	有 ・ 無
3		歳	男 ・ 女	有 ・ 無
4		歳	男 ・ 女	有 ・ 無
5		歳	男 ・ 女	有 ・ 無
6		歳	男 ・ 女	有 ・ 無
7		歳	男 ・ 女	有 ・ 無
8		歳	男 ・ 女	有 ・ 無
9		歳	男 ・ 女	有 ・ 無
10		歳	男 ・ 女	有 ・ 無

続き柄の記載例：父、母、夫、妻、兄、弟、姉、妹、子、夫の父、妻の母、子の子、姉の子、同居人 等

■転出理由について

問4 転出理由についておたずねします。

問4-1 問3で○をされた転出の最も大きな要因となった方についておたずねします。転出の一番大きなきっかけとなったできごとは何でしたか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

職業上の理由	1. 就職 2. 転職 3. 転勤 4. 家業継承 5. 創業 6. 定年退職 7. 通勤の利便性を重視
学業上の理由	8. 入学・進学 9. 教育支援制度(就学援助や奨学金など)の充実を重視 10. 学校教育(公立)の水準を重視 11. 学校教育(公立)の環境を重視 12. 通学環境(交通安全や交通利便性など)を重視
結婚・離婚などの理由	13. 結婚 14. 離婚 15. 別居
家族などの理由	16. 出産 17. 親と同居 18. 親の近くに居住 19. 子と同居 20. 子の近くに居住 21. 家族や親族から独立
その他の理由	22. 住宅(住宅の広さ、日当たりなど)に関する理由 <u>→こちらを選択された方は問4-2へお進みください</u> 23. その他()

問4-2 問4-1で「22. 住宅(住宅の広さ、日当たりなど)に関する理由」に○をつけた方におたずねします。転出前に住んでいた住宅に関して、転出を考えた理由は何でしたか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

1. 手狭になった 2. 従前の広さが必要なくなった 3. 古くなった 4. 間取りが悪かった 5. 日当たりが悪かった 6. バリアフリー対応の住宅に住む必要性が生じた 7. 家賃が高かった 8. 住宅ローンの返済の負担が重かった 9. 駅やバス停までの距離が遠かった 10. 駐車スペースがなかった 11. 住宅を購入したかった 12. 移動先で住宅支援制度(※)があった 13. その他()

(※) 住宅支援制度…転入・転出などの移動に対する自治体からの補助制度
(住宅取得補助、リフォーム補助など)

■通勤の状況について

問5 世帯で主となり生計を立てている方の通勤の状況についておたずねします。

問5-1 現在の勤務地と自宅からの所要時間について記入してください。

都道 府県		市区 町村		所要 時間	分
----------	--	----------	--	----------	---

問5-2 転出にあたり、勤務地の変更（転職、転勤など）を伴いましたか。あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

1. 伴った	2. 伴っていない
--------	-----------

問5-3 転出に伴う通勤時間の変化について、あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

1. 長くなった	2. 短くなった	3. 変わらない
----------	----------	----------

■居住地の選択について

問6 転出先の居住地を決めた理由は何でしたか。あてはまる番号に2つまで〇をつけてください。

- | | | |
|-----------------------------|---------------------------|---------------|
| 1. 公園が充実している | 2. 緑が充実している | |
| 3. 大気汚染、騒音や振動などの問題がない | 4. まちの防犯性が高い | |
| 5. 通勤が便利である | 6. 医療施設が整っている | 7. 文化施設が整っている |
| 8. スポーツ施設が整っている | 9. 保育所・こども園の待機児童の心配が少ない | |
| 10. 留守家庭児童クラブなどの待機児童の心配が少ない | | |
| 11. 保育サービスが整っている | 12. 子どもの遊び場などの子育て環境が整っている | |
| 13. 日常の買い物が便利である | 14. 高齢者への福祉サービスが整っている | |
| 15. 障害のある人への福祉サービスが整っている | 16. 近所づきあいの心配がない | |
| 17. 都市のイメージが良い | 18. 特になし | |
| 19. その他() | | |

■転出前後の住宅の所有関係などについて

問7 転出前と転出後の住宅の所有関係について、下の一覧表からあてはまる番号を1つ選び、下記の回答欄にそれぞれ記入してください。

【一覧表】

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|---------------------------|
| 1. 持家(一戸建) | 2. 持家(分譲マンション) | 3. 公的・公営住宅(公団・公社・市府営住宅など) |
| 4. 民間の借家(一戸建) | 5. 民間の借家(アパート・賃貸マンションなど) | |
| 6. 給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮など) | 7. 学生寮 | 8. 下宿・間借り |
| 9. 施設(病院、福祉施設など) | 10. 親族の家 | 11. その他() |

転出前		転出後	
-----	--	-----	--

問8 転出前と転出後の住宅の床面積について、下の一覧表からあてはまる番号を1つ選び、下記の回答欄にそれぞれ記入してください。

【一覧表】

- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|--------------|
| 1. 20㎡未満 | 2. 20㎡～40㎡未満 | 3. 40㎡～60㎡未満 | 4. 60㎡～80㎡未満 |
| 5. 80㎡～100㎡未満 | 6. 100㎡～120㎡未満 | 7. 120㎡～140㎡未満 | |
| 8. 140㎡～160㎡未満 | 9. 160㎡以上 | | |

※居住室の床面積のほか、玄関・台所・トイレ・浴室・廊下・押入れなどを含めてください。ただし、営業用及び他の世帯が使っている部分は除いてください。

※床面積は、1坪(2畳)を3.3㎡に換算してください。

転出前		転出後	
-----	--	-----	--

■東大阪での居住に対する評価について

問9 東大阪での居住に対する評価についておたずねします。

問9-1 転出後の世帯の中で最も長く東大阪市に住んでいた方は、何年間居住されていましたか。

あてはまる番号に1つ○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|-----------|-----------|------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～3年未満 | 3. 3～5年未満 | 4. 5～10年未満 |
| 5. 10～20年未満 | 6. 20年以上 | | |

問9-2 あなたは東大阪市に住んでいてよかったと思いますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

- | | | | |
|----------|-----------|------------|-------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. あまり思わない | 4. まったく思わない |
| 5. わからない | | | |

■東大阪市への帰還意向

問10 東大阪市への帰還意向についておたずねします。

問10-1 機会があれば東大阪市に戻りたいと思いますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------------|-------------------|
| 1. ぜひ戻りたい | 2. どちらかといえば戻りたい | 3. どちらかといえば戻りたくない |
| 4. 戻りたくない | | |

問10-2 問10-1で「ぜひ戻りたい」又は「どちらかといえば戻りたい」に○をつけた方におたずねします。その理由を次の項目から2つ選び、該当する番号を優先順位の高いものから回答欄に記入してください。

- | | | |
|-----------------------|--------------------------|----------------|
| 1. 通勤・通学が便利であるから | 2. 買い物など日常生活が便利だから | |
| 3. 道路事情がよいから | 4. 公共交通の利便性が高いから | |
| 5. 良好な住環境が整備されているから | 6. 子育て環境が充実しているから | |
| 7. 公教育が充実しているから | 8. 治安がよいから | 9. 医療が充実しているから |
| 10. 福祉が充実しているから | 11. 防災面での強化、充実が図られているから | |
| 12. 公園や自然環境が豊かだから | 13. スポーツをする場が豊富だから | |
| 14. 文化施設が充実しているから | 15. 市街地に活気があるから | |
| 16. 魅力的な就業の場が豊富であるから | 17. 生まれ育ったところだから | |
| 18. 親など親族の居住地に近いから | 19. 地域の祭りなど愛着があり地域が恋しいから | |
| 20. あらかじめ住居が用意されているから | | |
| 21. その他() | | |

	優先順位①	優先順位②
回答欄		

■自由意見

東大阪市へのご意見などをご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。